

国立大学法人

GUIDE BOOK

東京農工大学

農学部 / 工学部

BIOLOGICAL PRODUCTION / APPLIED BIOLOGICAL SCIENCE / ENVIRONMENTAL AND NATURAL
RESOURCE SCIENCE / ECOREGION SCIENCE / VETERINARY MEDICINE / BIOTECHNOLOGY AND LIFE

TOKYO

SCIENCE / BIOMEDICAL ENGINEERING / APPLIED
CHEMISTRY / APPLIED PHYSICS AND CHEMICAL
ENGINEERING / MECHANICAL SYSTEMS ENGINEERING
/ ELECTRICAL ENGINEERING AND COMPUTER SCIENCE

UNIVERSITY OF

AGRICULTURE &

TECHNOLOGY

2020

研究力で世界を変えていく!

東京農工大学の卓越した研究力は、アジアおよび世界から注目されています!

MORE SENSE

美しい地球持続のために

地球をまわそう

それは地球を取り巻く問題に積極的に
取り組み、科学の進化に貢献する姿勢です。
東京農工大学では、国際社会で
リーダーとしての役割を担い、
持続発展可能な社会づくりのための人材育成と
知の創造に邁進し、未来の地球をまわす
人材を世に送り出していきます。

CONTENTS

- 02 研究力で世界をリードする教員たち
- 04 研究現場はこんなにグローバル!
- 05 地球レベルの課題に挑む仲間たち
- 06 イノベーションリーダーを育成する
東京農工大学のグローバル教育
- 08 学長メッセージ/沿革
- 10 東京農工大学の学び
- 12 学部学科INDEX
- 14 **農学部** 生物生産学科
- 16 応用生物科学科
- 18 環境資源科学科
- 20 地域生態システム学科
- 22 共同獣医学科
- 24 **工学部** 生命工学科
- 26 生体医用システム工学科
- 28 応用化学科
- 30 化学物理工学科
- 32 機械システム工学科
- 34 知能情報システム工学科
- 36 大学院
- 38 キャリア支援/進路・就職
- 40 府中キャンパス
- 42 小金井キャンパス
- 44 CAMPUS LIFE
- 46 学生生活サポート
- 48 入試情報
- 49 オープンキャンパス

海外RANKING

教員あたりの論文被引用数

QS World University Rankings 2018 日本部門

- No.1 東京大学
- No.2 大阪大学
- No.3 東京工業大学
- No.4 京都大学
- No.5 **東京農工大学**
- No.6 名古屋工業大学
- No.7 東北大学
- No.8 名古屋大学
- No.9 北海道大学
- No.10 首都大学東京

国内RANKING

就職力ランキング

日経CAREER MAGAZINE「価値ある大学2019年版」*

総合ランキング

- | | |
|--------------------|-------------|
| No.1 筑波大学 | No.6 横浜国立大学 |
| No.2 京都大学 | No.7 九州大学 |
| No.3 東京農工大学 | No.8 早稲田大学 |
| No.4 大阪大学 | No.9 慶應義塾大学 |
| No.5 東京外国語大学 | No.10 名古屋大学 |

「すぐれた研究を行っている」部門

- | | |
|-----------|--------------------|
| No.1 京都大学 | No.6 東京農工大学 |
| No.2 東京大学 | No.7 名古屋大学 |
| No.3 大阪大学 | No.8 筑波大学 |
| No.4 九州大学 | No.9 東京工業大学 |
| No.5 東北大学 | No.10 北海道大学 |

※上場企業4750社の人事担当者から見た大学のイメージ調査を基にしたランキング。調査期間は、2018年2~3月。

科学技術系の学びに特化した大学として、研究成果を社会・企業に還元していることが評価され総合ランキング第3位に。主体性、チャレンジ精神といった「行動力」でも高い評価を受けた。



研究力で世界をリードする教員たち

東京農工大学の教員たちは、学生の指導を行いながら、世界をフィールドにした研究に取り組んでいる。オリジナリティあふれる研究は、世界中の研究者から注目を集めている。世界を変える可能性を秘めた研究者たちがここにいる。



農学部 環境資源科学科 教授

高田秀重 TAKADA, Hideshige

プラスチックゴミを収集する世界的ネットワークを構築

プラスチックによる海洋汚染が深刻化している。この問題に着目した農学部環境資源科学科の高田秀重教授は、2005年から世界中の研究者や市民に協力を呼びかけ、各国の海辺に漂着した微細なプラスチックを収集し、調査している。

「私が問題視したのは、世界中の海辺に漂着しているレジンペレットです。これは、プラスチック製品をつくる際の中間材料で、貨物船や工場から流出したと考えられます。直径数ミリの粒状で、物理的に異物だけでなく、有害な化学物質を吸着することもわかっています。これが海鳥の胃袋から見つかった例も多く、生体への影響も懸念されています」

高田教授は、Webサイト「International Pellet Watch」を主催し、世界中のレジンペレットの分布図を公開。協力者からサンプルをエメールで送ってもらった活動を続けている。

「すでに50か国以上のサンプルが集まり、収集したデータを国連機関に提供したこともあります。信頼できるデータを世界に発信することが、次世代の研究者の使命なのです」



1 プラスチック製品の中間材料となるレジンペレット 2 海鳥の胃袋から採取したプラスチック



Agriculture

農学部 応用生物科学科 准教授

木村郁夫 KIMURA, Ikuo

腸内細菌がつくる代謝産物から食物の機能や健康への影響を解明

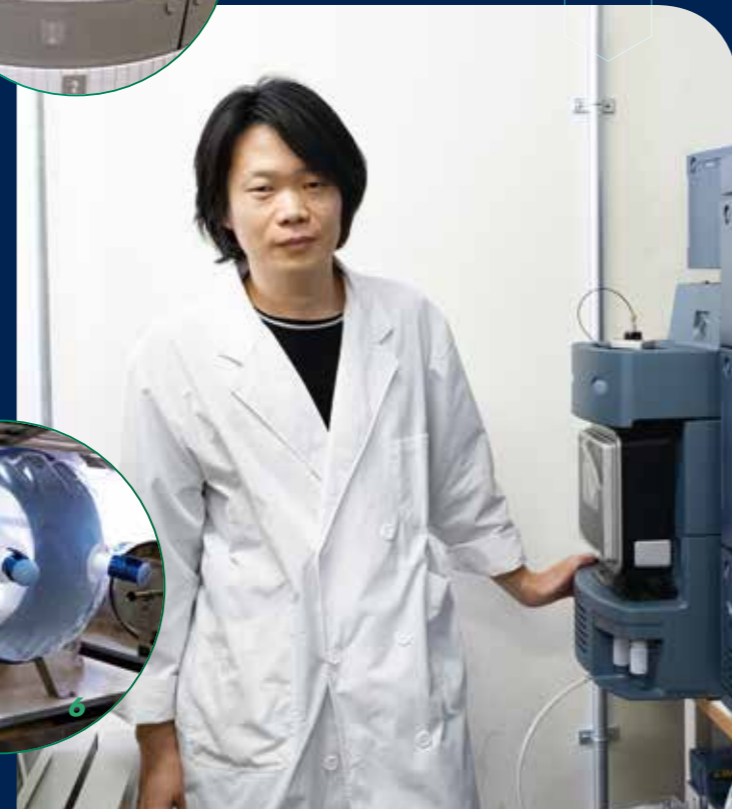
食物繊維は体にいい……。そこで思考停止していないだろうか。はたして食物の成分は、どのようなメカニズムで体に作用しているのか？こんな日常の謎に挑んでいるのが、食と腸内環境、生活習慣病についての研究に取り組む農学部応用生物科学科の木村郁夫准教授だ。

「例えば、食物繊維が腸に届くと腸内細菌が分解し、短鎖脂肪酸という代謝産物をつくり出します。これが細胞内の受容体と結びついて新たな作用を生み出します。食物繊維の場合、ある受容体は短鎖脂肪酸の刺激を受けてエネルギー消費を増やし、別の受容体は脂肪蓄積を抑制することが、私の研究で明らかになりました。このように、食と健康の関係は、科学的根拠をもって証明していく時代なのです」

この研究成果は、英科学誌『ネイチャー・コミュニケーションズ』に掲載され、世界からも注目を集めている。食物繊維だけでなく、さまざまな食物の機能や健康への影響を明らかにできると期待され、企業との共同研究も進んでいる。



5 研究に用いる質量分析機器 6 特定の腸内細菌を持つマウスを飼育する無菌装置



一緒に世界を動かす “手応え”を感じよう！

工学部 生体医用システム工学科 教授

三沢和彦 MISAWA, Kazuhiko

光科学の融合領域から医療を変える技術を開発

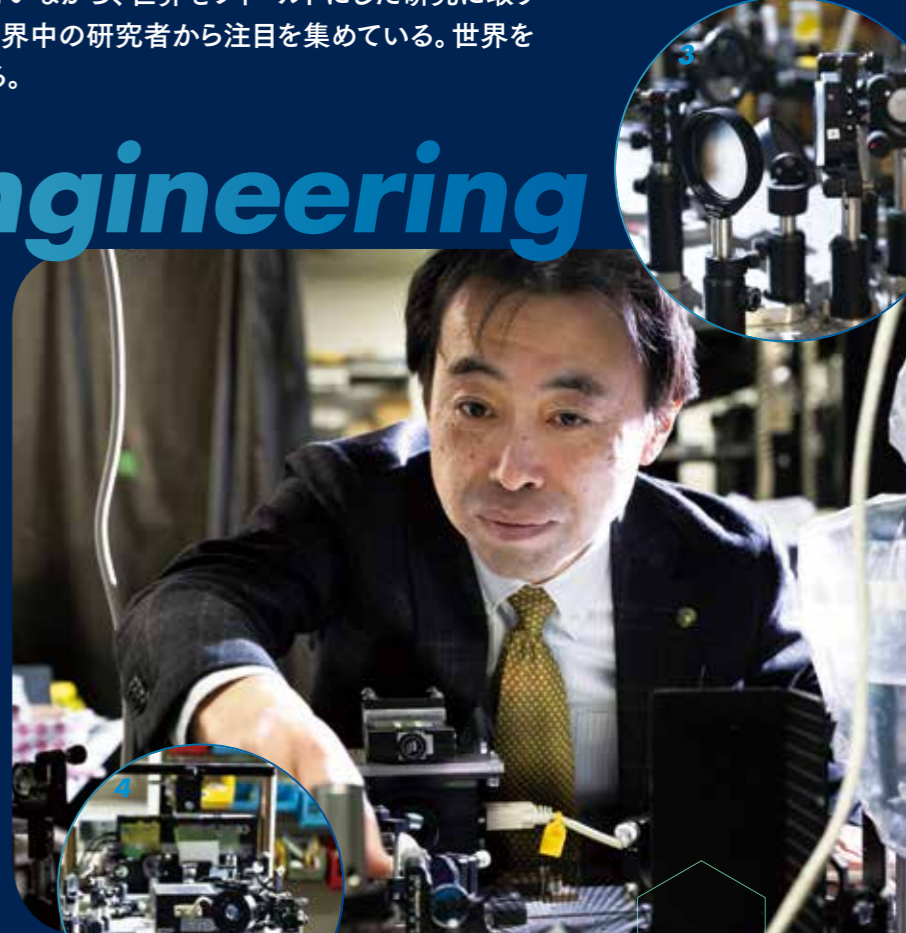
光融合科学を医療に応用した研究が注目を集めている。研究を統括するのは、工学研究院長の三沢和彦教授だ。

「分子の濃度分布を標識や染色をせずにそのままの状態を高感度に撮影する『コヒーレントラマン顕微鏡』に独自の光波形整形技術を導入することで、生体中で低濃度の薬剤検出を可能にする新技術を開発しました。これは、非染色分子イメージングの適用範囲を拡大し、医薬品や化粧品開発の産業分野に大きく貢献することが期待されています」

研究のベースになるのは、レーザー物理学。物理学の知見を用いて光の性質を制御する基礎研究を医療分野に応用した成果となる。この研究内容は、米国物理学協会の国際学術誌『APL Photonics』に招待論文として掲載されている。

「物理学のなかでも異分野との親和性が高い光科学を横串として、生命科学分野、獣医学分野と融合した新しい研究領域をつくるのが私の目標です。ここからノーベル賞級の発見を世界に発信していきたいと思っています」

Engineering



3, 4 三沢教授の研究室で開発した光電場任意制御装置ほか、超高遠光科学を用いた装置の数々

工学部 化学物理工学科 教授

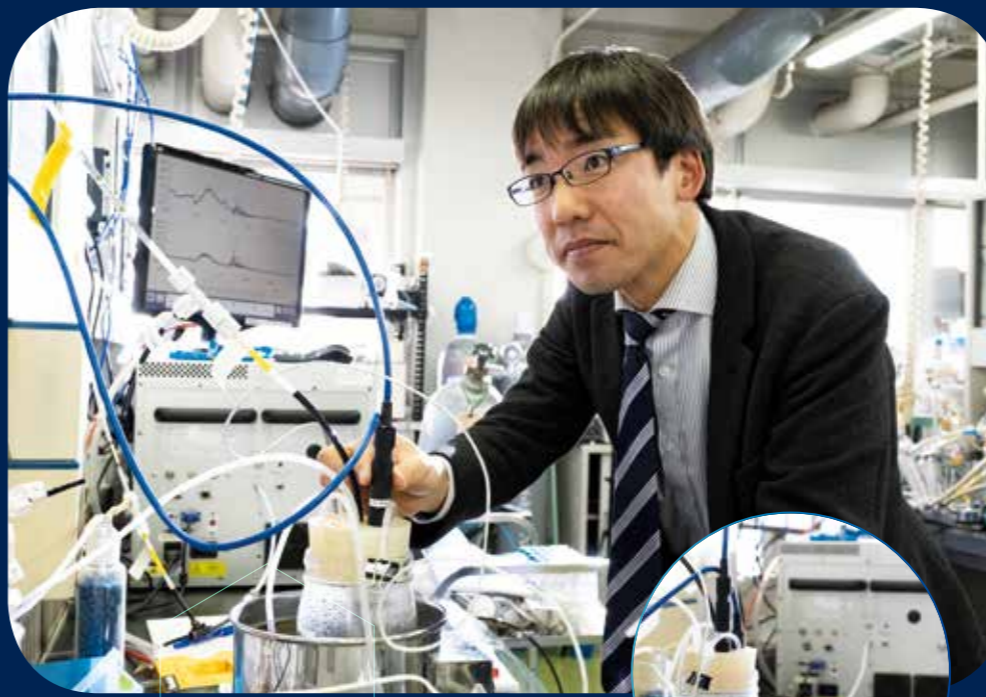
寺田昭彦 TERADA, Akihiko

微生物で水質浄化に挑む環境バイオテクノロジー

世界の急激な人口増加や食糧生産によって、21世紀はさらに水不足や窒素に起因する水環境汚染が深刻化し、今後ますます「きれいな水」の価値は高まっていくだろう……。そう警鐘を鳴らすのは、「環境バイオテクノロジー」を専門とする工学部化学物理工学科の寺田昭彦教授だ。

「地球環境に棲息するさまざまな微生物をコントロールして、温暖化や水質汚染の原因となる窒素化合物を除去する研究を行っています。特に、その1つである亜酸化窒素は、高い温室効果を有するオゾン層破壊物質。亜酸化窒素を除去する微生物がどのような環境下で活性を発揮するのかを明らかにし、新規排水処理装置の開発に役立てたいと考えています」

化学工学、環境バイオテクノロジーと微生物学を融合させたこの研究。「水環境汚染」という地球規模の課題に対して、独自技術で臨む新領域からの挑戦だ。21世紀の環境問題を解決するのは、「微生物」なのかもしれない。



7 排水に含まれる亜酸化窒素の濃度と経路を計測する装置 8 水質モニタリングの様子



研究現場はこんなにグローバル!

東京農工大学で学んだ留学生たちは、各国の教育機関・研究機関で活躍中。グローバルネットワークはますます拡大中です!



教授との議論や国際学会参加で研究ビジョンが格段に進化した

中国の北京交通大学で、「デジタル信号処理」「デジタル画像処理」「パターン認識」など、いくつかのコースで指導を担当しています。現在の研究テーマは、交通標識の検出と認識、署名の確認、画像シーンの分類など。東京農工大学での研究成果が、研究においても指導の上でも大いに役立っています。大学院工学府での研究生活は非常に有意義で、オープンで親切的な指導教授と議論した日々は私の財産です。博士課程時代は、国際学会に参加する経済的な支援をもらい、私の研究ビジョンは格段に広がりました。また、国際的なコミュニケーション力も存分に鍛えられました。研究施設も充実していて、すぐに実践的な研究に取り組める環境も東京農工大学の魅力だと思います。今後の目標は、「人工知能」「機械学習」の分野で成果を上げること。世界の人々の生活をよりよくするために、少しでも貢献できればと思っています。

北京交通大学
電子情報工学部 教授
黄 琳琳
Huang Linlin



大学院
生物システム応用科学府
生物機能システム科学専攻
博士課程
2002年修了

母国にまだない研究に取り組みキャリアの可能性が広がった

バングラデシュの農学系大学で土壌科学を教えています。専門分野は植物ストレス生理学と植物栄養学で、土壌汚染物質、大気汚染物質および気候変動が植物に及ぼす影響を研究しています。東京農工大学では、大学院連合農学研究科博士課程で、現在の研究につながる分野を深く学ぶことができました。東京農工大学の伊豆田研究室で取り組んだオゾンなどの大気汚染物質が植物に与える影響に関する研究は、バングラデシュではまだまだ進んでおらず、この成果は私のキャリアを大きく広げてくれました。また、アジア・アフリカ地域で活躍する環境分野のリーダーを育成するFOLENS*プログラムに参加できたことも貴重な経験になりました。東京農工大学には、次世代の研究者を育成するグローバルな研究環境が整っています。私も、植物ストレス生理学の分野で世界に貢献できる研究を続けたいと思っています。

Bangabandhu Sheikh Mujibur Rahman
Agricultural University 農学部 准教授

Mohammed Zia Uddin Kamal



大学院
連合農学研究科
環境資源共生科学専攻
博士課程
2015年修了

地球レベルの課題に挑む仲間たちと出会える!!

複雑な構造の部品を扱う超精密加工技術を研究しています。低コストで素早く部品を加工できる加工技術を開発することが目標です。



大学院工学府 機械システム工学専攻
博士前期課程2年
徐 萌
(中華人民共和国出身)

低濃度のガスを検出する高感度センサーの研究開発を進め、工学の知識と技術でフードロスを無くし、食料の生産効率を上げたい!



大学院生物システム応用科学府
食料エネルギーシステム科学専攻
一貫制博士課程3年
坂本優莉
(私立普通士学園高等学校出身)

パクチャーやミツバなどにかかる病原菌のメカニズムの解明に挑戦しています。この研究成果を、農業の発展に役立てることが目標です!



大学院農学府 農学専攻
生物生産科学コース 修士課程1年
加藤有紀子
(埼玉県立浦和第一女子高等学校出身)

大気中のアンモニアや二酸化硫黄といった物質の沈着量を推計するモデルを研究し、大気汚染問題の解決を目指しています。



大学院農学府 農学専攻
自然環境資源コース 修士課程1年
山賀 優子
(長野県上田高等学校出身)

地球レベルの課題に挑む仲間たちと出会える!!

AI同士が交渉を行い、合意に達するまでの過程を研究。企業間の交渉をAIが代行し、最適な結果を出してくれる社会を目指します!



大学院工学府 情報工学専攻
博士前期課程1年
細川雄太
(国立筑波大学附属高等学校出身)

福島の森林土壌におけるセシウム-137の利用可能性について研究しています。環境保全に関する専門知識をクリーンエネルギー開発の分野で役立てたいです。



大学院連合農学研究科
環境資源共生科学専攻 博士課程 3年
Mensah Akwasi Dwira
(ガーナ出身)

林業用自律走行車両を開発して、作業を自動化する研究に取り組んでいます。日本の木材自給率を上げ、海外の違法伐採や輸送のエネルギー削減で環境負荷を減らしたいです!



大学院農学府 農学専攻
自然環境資源コース 修士課程1年
小野 祥
(私立東京電機大学高等学校出身)

研究テーマは、二酸化炭素を原料にしたブロックポリマーの合成。環境に優しいプラスチック材料の開発に役立てたいです。



農学部 共同獣医学科5年
小林由佳
(私立普通士学園高等学校出身)

大学院で植物病理学を学んでいます。植物病害を防ぐ環境負荷の少ない手法を構築し、世界の食料危機の解決に貢献したいです。



大学院連合農学研究科
生物生産科学専攻 博士課程 1年
Fawzia Novianti
(インドネシア出身)

レーザーを使ってガラスに周期構造をつくる研究に取り組んでいます。教科書に載るような、新しい技術を生み出すことが目標です。



大学院工学府 物理システム工学専攻
博士前期課程1年
高谷 竜輝
(静岡県立沼津西高等学校出身)

ナノサイズの材料を使って、まったく新しいプラスチック材料の開発に挑戦中。世の中をあとと驚かせるような材料をつくりたいです。



大学院工学府 生命工学専攻
博士後期課程2年
小林 翼
(私立明治大学付属高等学校出身)

科学とアートを組み合わせ、持続可能な社会を実現する方法を多くの人々に伝え、環境への意識を高める活動をしていきたい!



大学院連合農学研究科
環境資源共生科学専攻 博士課程 1年
Mona Alidoust saharhiz lahiji
(イラン出身)

農学と情報工学を融合して、光合成のメカニズムを解明し、稲の収量UPにつなげる研究をしています。この方法で、世界の食糧問題を解決するのが目標です!



農学部 生物生産学科4年
本田 爽太郎
(東京都立国立高等学校出身)

中性脂肪を精密に計測するバイオセンサーを開発中。この研究を肥満の治療に役立てて、世界中の人々の健康維持に貢献します!



大学院工学府 生命工学専攻
博士前期課程2年
桐 升
(中華人民共和国出身)

レーザーを使ってガラスに周期構造をつくる研究に取り組んでいます。教科書に載るような、新しい技術を生み出すことが目標です。

レーザーを使ってガラスに周期構造をつくる研究に取り組んでいます。教科書に載るような、新しい技術を生み出すことが目標です。

イノベーションリーダーを育成する 東京農工大学のグローバル教育

Topic

東京農工大学では、「イノベーションリーダー」の育成を目指しています。既存の型にはまらない次世代のリーダーシップ、そしてグローバルなコミュニケーション能力を持った人材は、国内外を問わず求められています。学部4年間でその基礎を培うための教育を実施しており、その一環として留学のチャンスも数多く用意しています。

留学プログラム

東京農工大学では目的、語学力や専門に応じてさまざまな留学プログラムを用意しています。短期語学留学で語学力を向上させ、次に専門性の高いセメスター派遣や研究交流プログラムへとステップアップすることで、グローバルな研究活動を行う力を身につけることができます。



各留学プログラムの詳細はこちら
(海外留学ポータルサイト)

10日~1か月

語学研修プログラム

- 学部夏季・春季短期派遣プログラム(語学系)

派遣先例

アメリカ、イギリス、オーストラリア、シンガポール

10日~3か月間

短期派遣専門プログラム

- 学部夏季・春季短期派遣プログラム(専門系)
- La-CEPプログラム

派遣先例

マレーシア、タイ、インドネシア、メキシコ、ペルー、ブラジル 等

4か月~1年間

セメスター派遣プログラム

- 学部学生セメスター派遣プログラム
- La-CEPプログラム

派遣先例

マレーシア、ドイツ、タイ、フィリピン、メキシコ、ペルー、ブラジル、オランダ、イタリア 等

1か月~1年間

研究留学

派遣先例
世界各国

1年間~

学位取得

- 農学府ダブルディグリープログラム
- UCデービスダブルディグリープログラム

派遣先例

インドネシア、イタリア、アメリカ

グローバル
人材

グローバル
研究人材

グローバル人材育成プログラム

- 1 卓越大学院プログラム
- 2 グローバルプロフェッショナルプログラム
- 3 イノベーション創出人材プログラム
- 4 理系研究者ビジョナリープログラム
- 5 イアエステ海外インターンシップ

TOEFL iBT対策講座/TOEFL ITP対策講座

学部

1~2年生

3~4年生

大学院

語学力

奨学金等の経済支援

短期派遣専門プログラム

タイでの短期留学を経て インドネシアの大学に留学

農学部短期派遣プログラムでタイを訪れました。12日間で、バンコク、アユタヤのほか、農村地域にも訪れ、塩田や果物加工工場を見学しました。バンコクは東京と同じくらい発展しており、タイの印象が大きく変わりました。これをきっかけにアジア諸国に関心を持つようになり、次回はセメスター留学への挑戦を決意。インドネシアの大学で土壌の研究に携わる予定です!



山本沙季

農学部 生物生産学科 3年
埼玉県立浦和第一女子高等学校出身
留学先 | タイ・カセサート大学
(12日間)



マングローブ林見学の様子

セメスター派遣プログラム

留学先で脳波の研究に挑戦! 実践的な英語力が身についた

大学院入学前から海外留学に興味があり、3年次にセメスター派遣プログラムでタイへの留学に参加しました。留学先の大学では英語での講義を受講するのはもちろん、現地の学生と一緒に脳波に関する研究にも挑戦。英語でコミュニケーションをとりながら研究に取り組んだことで、これからの研究生活にも役立つ実践的な英語力やプレゼンテーション能力が身についたと感じています。



庄司拓句

大学院工学府 電気電子工学専攻
博士前期課程1年
東京都立国立高等学校出身
留学先 | キングモンクトン工科大学
トンブリ校 (6か月)



友人の卒業式のリハーサルでの1枚

自国の発展のために学ぶ 学生たちに刺激を受けた

インドネシアのボゴール農科大学で5か月間、授業やフィールド学習に参加しました。現地では、自国の発展に貢献したいという夢を語る学生が多く、一緒に学ぶなかでとても刺激を受けました。帰国後は、日本の農業における技術力の高さを再認識。留学で得た国



山崎若菜

大学院工学府 農学専攻
国際イノベーション農学コース修士課程1年
私立桐朋女子高等学校出身
留学先 | インドネシア・ボゴール農科大学 (5か月)



フィールドトリップでのアクティビティの様子

際感覚を活かし、将来は日本の品質管理のノウハウや安全性の高い農薬を世界に発信する技術者になりたいです。

研究留学

アメリカ・カナダ・オランダで 野球の打撃動作を研究・調査

文部科学省「トビタテ!留学JAPAN」の奨学金を利用して、アメリカ、カナダ、オランダの大学や研究機関で6か月間の留学を経験しました。応募したテーマは、「野球の打撃動作の研究」。各国の研究拠点でデータ解析を行い、語学力よりも研究経験が研究者の共通語になることを知りました。留学経験を活かし、「AI機能を搭載した打撃指導アプリ」を開発するのが目標です。



川越隆裕

大学院工学府 機械システム工学専攻
博士後期課程1年
宮崎県立宮崎大富高等学校出身
留学先 | オランダ (1か月)、
アメリカ (1か月)、カナダ (4か月)



オランダ代表選手との実験

研究力

世界43か国・地域の ネットワーク

東京農工大学は、世界43の国・地域に渡る158大学・研究機関(2019年1月31日現在)と国際学術交流協定を締結し、活発に留学や研究派遣を行っています。協定校からも多くの留学生を受け入れており、合同の授業、研究活動、そしてキャンパス生活を通しての交流があります。なお、海外協定校への留学は、原則として留学先に授業料等を別途支払う必要はありません(一部例外あり)。また、留学先の単位が東京農工大学の単位として認定される制度もあります。

姉妹校提携機関数

アジア 77機関/ヨーロッパ 46機関/北アメリカ 13機関/南アメリカ 5機関/中東 6機関/オセアニア 3機関/アフリカ 3機関/国際連合 1機関



本学の姉妹校
158大学の
詳細はこちら
(国際交流課ホームページ)

学内で「グローバル力」 を身につける

グローバル力を身につけるための取り組みは、キャンパス内でも行われています。2019年度からスタートした新カリキュラムでは、教養教育としての英語科目において「読む・聞く・話す・書く」の4技能をバランスよく伸ばす科目を配置し、英語によるディスカッションやプレゼンテーションなどを行います。また、英語力向上推進プログラムの一環として、TOEFLテスト対策講座を学内に実施し、英語による講義を受講し単位が取得できるレベルの英語力育成を目指しています。その他、留学生とともに学びながら、日本での生活をサポートする学生の活動(パティ・クラブ)が盛んに行われ、英語でのコミュニケーション力やグローバルな視点を培うことにつながっています。

「グローバル研究人材」 を目指す

大学院へ進学する学生には、さまざまなグローバル人材育成プログラムが用意されています。これらのプログラムでは、最先端の研究をグローバルに展開しながら、国際競争力を身につけた研究者を育成することを目指しており、海外研修や研究派遣、海外インターンシップ等のプログラムが組み込まれています。

学長 MESSAGE

現在、世界では「持続発展可能な社会の実現」が求められています。東京農工大学では、農学、工学およびこれらの融合領域における教育研究を通して、将来この課題を解決できるような学生を育成しています。

世界規模の 課題解決に挑む 冒険の道を選ぼう

環境汚染、エネルギーの枯渇、食糧不足……。今、世界はさまざまな困難に直面しています。こうしたグローバル規模の課題に対して、「農学」と「工学」の両輪で新たな解決策を提示する。これが、農学部と工学部からなる唯一の国立大学法人である東京農工大学の使命だと考えています。

食糧不足の問題を例に挙げてみましょう。農学の分野においては、食糧の安定供給のために、より効率的な農法の開発が求められています。しかし、こうした問題を農学の力だけでは解決するのは困難です。食糧生産のための大規模なプラント開発や、販売・流通システムの自動化という部分では、工学の力も必要になってきます。ふたつの分野の知見を融合することで、持続発展可能な社会を実現する。それが、東京農工大学が掲げる「地球をまわす力」です。

さらに、エネルギー問題や環境汚染に関しては、古くから謳われてきた「石油依存型社会からの脱却」という課題を、より発展的に解決していく必要があります。ゴミからエネルギーを生み出したり、排熱を有効活用して電気に変換したり……。まだ誰も挑戦したことのない手法で新たなエネルギーをつくり出す、「地球を救う力」を持ったチャレンジングな人材を育てたいと考えています。

2024年に、創基150周年を迎える東京農工大学。次の時代に向けて、農学部と工学部の協働はもちろん、他大学や企業との連携もさらに強化し、グローバル規模の課題に挑戦していきます。高校生のみなさんにはぜひ、さまざまな分野に興味を持ち、世界に飛び出して行くチャレンジ精神を持って大学の門を叩いてほしいと思います。「冒険しない生き方はするな」。次世代を担う高校生のみなさんへ、私からのメッセージです。

東京農工大学 学長 大野弘幸

早稲田大学理工学部応用化学科卒業後、同大学大学院理工学研究科応用化学専攻博士課程修了。ドイツ、マインツ大学訪問研究者、米国ケースウェスタンリザーブ大学博士研究員、早稲田大学助手、東京農工大学助教授、教授、同工学部長・工学研究院長を経て、現在に至る。

東京農工大学憲章

(抜粋)

基本理念

「持続発展可能な社会の実現」に向けた課題を受け止め、農学、工学およびその融合領域における自由な発想に基づく教育研究を通して、世界の平和と社会や自然環境と調和した科学技術の進展に貢献するとともに、課題解決とその実現を担う人材の育成と知の創造に邁進することを基本理念とする。

教育

科学技術系大学院基軸大学として、豊かな教養・高い倫理観と広い国際感覚を身につけた、共生社会を構築して人類社会に貢献できる先駆的で人間性豊かな指導的研究者・技術者・高度専門職業人を養成するとともに、その社会的輩出に貢献する。

研究

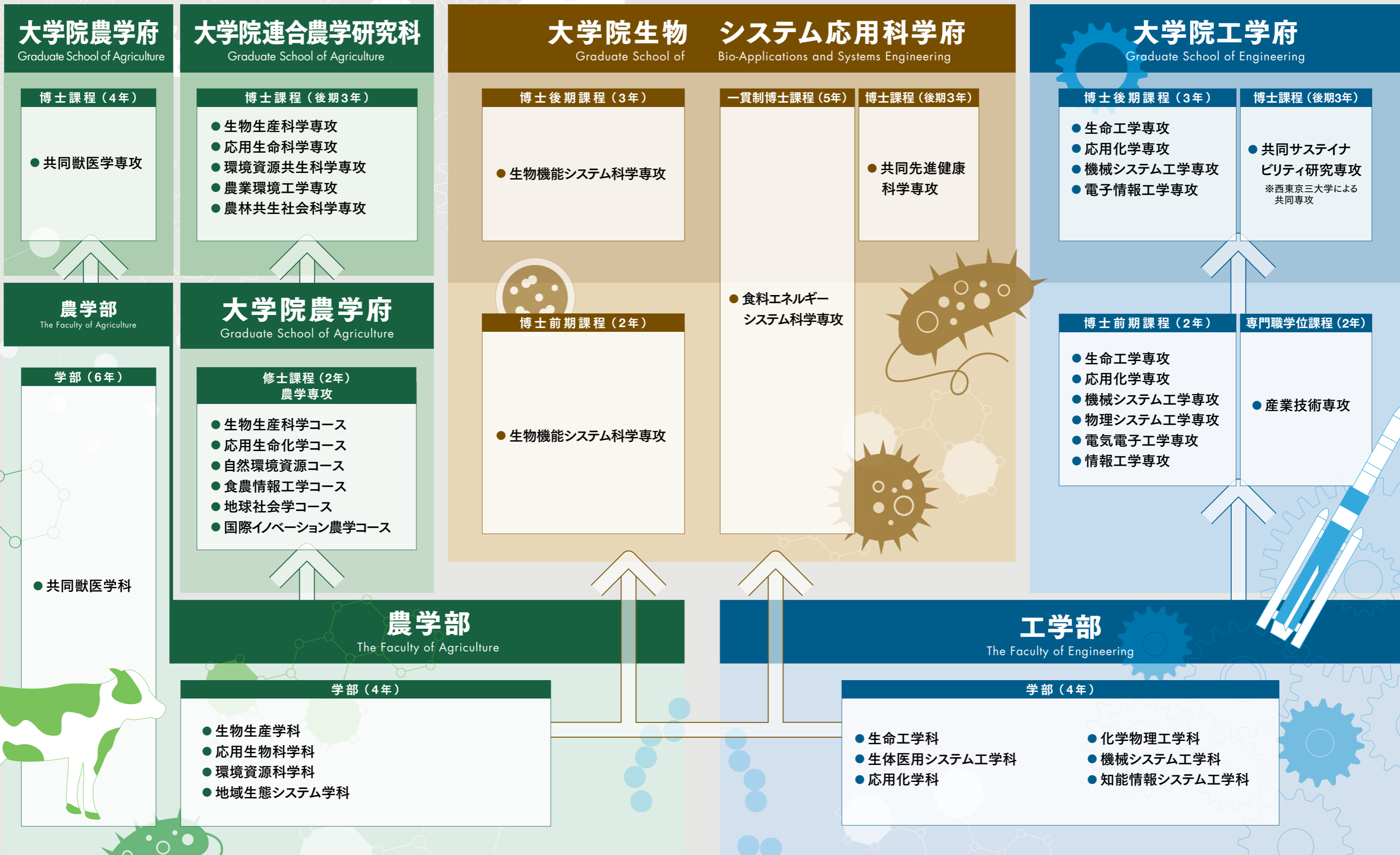
人類社会の基幹を支える農学、工学およびその融合領域に関わる基礎研究から科学技術に直結する応用研究に至る「使命志向型研究」の遂行により、卓越した新しい知の創造を推進する。また、持続可能な社会の構築に向けた、人と自然が共生するための「科学技術発信拠点」としての役割を果たす。

東京農工大学の沿革

- | | | | |
|--------------|---|--------------|--|
| 1874年 | 内務省勸業寮内藤新宿出張所を設置
農事修学場（農学部創基）
蚕業試験掛（工学部創基） | 2005年 | 大学院技術経営研究科（専門職学位課程）を設置 |
| 1949年 | 東京農工大学（農学部・繊維学部）を設置 | 2006年 | 大学院共生科学技術研究部を大学院共生科学技術研究院に名称変更
大学院農学教育部、大学院工学教育部、大学院生物システム応用科学教育部を大学院農学府、大学院工学府、大学院生物システム応用科学府に名称変更 |
| 1962年 | 繊維学部を工学部に改称 | 2010年 | 大学院共生科学技術研究院を大学院農学研究科及び大学院工学研究院に改組 |
| 1965年 | 大学院農学研究科（修士課程）を設置 | 2011年 | 大学院技術経営研究科（専門職学位課程）を改組し、大学院工学府産業技術専攻（専門職学位課程）へ再編 |
| 1966年 | 大学院工学研究科（修士課程）を設置 | 2012年 | 岩手大学農学部・東京農工大学農学部共同獣医学科を設置 |
| 1985年 | 大学院連合農学研究科（博士課程）を設置 | 2014年 | 創基140周年 |
| 1989年 | 大学院工学研究科（修士課程）を工学研究科（博士前期・後期課程）に改組 | 2016年 | グローバルイノベーション研究院（研究組織）を設置 |
| 1995年 | 大学院生物システム応用科学研究科（博士前期・後期課程）を設置 | 2018年 | グローバル教育院（教育組織）を設置
大学院農学府に東京農工大学大学院、岩手大学大学院共同獣医学専攻（4年制博士課程）を設置 |
| 2004年 | 国立大学法人東京農工大学に移行
大学院（農学研究科、工学研究科、生物システム応用科学研究科）を改組し、大学院共生科学技術研究部（研究組織）及び大学院農学教育部、大学院工学教育部、大学院生物システム応用科学教育部（教育組織）に再編 | | |

東京農工大学の学び

東京農工大学では、学部4年間で研究・教育を履修した後、大学院で専門分野をより深く学ぶことができます。学部から修士課程、博士課程まで続く、学びをイメージしてみましょう。



農学部

農学部は5学科から構成され、農学、生命科学、環境科学、獣医学分野の諸問題の解決と持続発展可能な社会の形成に資するため、広く知識を授けるとともに基礎的専門知識を授け、豊かな教養、高い倫理観と国際感覚を具備し、共生社会を構築して人類社会に貢献できる、先駆的で人間性豊かな人材を育成します。

学部長メッセージ



身近な自然を科学的に理解し
社会を動かす「実践力」を養う

千葉一裕 CHIBA, Kazuhiro

近年、私たちの住む地球は、食料・資源問題、人口問題、異常気象や環境問題など、さまざまな課題に直面しています。こうした課題に挑むのが、農学を探究する者の使命です。そのためには、身近な自然のしくみや社会の成り立ちを科学的に深く理解することが重要です。自らの専門を究めながら、自然科学や社会科学を横断した幅広い知識に触れ、本当に社会を動かせる「実践力」を農学部で身につけてほしいと思っています。

学科名	学びのキーワード
生物生産学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 土壌有機物 ■ 土壌生態系 ■ バイオ肥料 ■ 野生動物保全 ■ 作物生産 ■ 遺伝解析 ■ 家畜管理 ■ 食品 ■ 植物ホルモン ■ 昆虫 ■ 農業経済 ■ 農村開発
応用生物科学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 遺伝子組換え ■ 微生物 ■ 生理活性物質 ■ 糖タンパク質 ■ バイオテクノロジー ■ 細胞外マトリックス ■ 癌細胞 ■ 免疫と神経 ■ 植物分子育種 ■ 食品化学
環境資源科学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 土壌・水圏・大気汚染 ■ 生態系影響 ■ マイクロプラスチック ■ 生元素循環 ■ リサイクル ■ バイオレメディエーション ■ エコマテリアル ■ 光化学 ■ 木造耐火建築 ■ バイオマス ■ バイオ燃料 ■ 環境計測
地域生態システム学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 持続型・循環型社会 ■ 土木環境システム ■ 森林計画 ■ 水環境保全 ■ 環境教育 ■ 流域資源管理 ■ 自然エネルギー利用 ■ 人と動物の関係 ■ 漁業 ■ 森林生態系 ■ 河川生態系 ■ 自然再生
共同獣医学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 獣医学 ■ 解剖学 ■ 薬理 ■ 公衆衛生 ■ 画像診断 ■ 臨床腫瘍 ■ 伴侶動物 ■ 動物診断 ■ 食品の安全 ■ 感染症 ■ 伝染病 ■ 獣医師

アドミッションポリシー (学生受入方針)

地域社会や国際社会における食料・生命・資源・環境に関する様々な問題に関心を持ち、身につけた知識を生かして主体的に考え、他人と協力・協働して、これらの問題解決に立ち向かう意欲を持つ学生を求めます。

学びの目的・学びの特色

農学部においては、農学、生命科学、環境科学、獣医学分野の諸問題の解決と持続発展可能な社会の形成に資するため、広く知識を授けるとともに専門の学芸を教授し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることができる人材を養成することを目的としています。

4年間の学びの流れ (カリキュラム)



工学部

工学部の6学科では、「バイオ/医工系」「エネルギー/環境/マテリアル系」「モビリティ/ロボティクス/コンピュータ/AI系」の3つの専門性を軸に、複数の専門領域を学べるカリキュラムを用意しています。実社会のニーズを反映した分野横断的融合研究に挑戦できる環境です。

学部長メッセージ



分野横断的融合研究で
新たな産業の創出を目指す

三沢和彦 MISAWA, Kazuhiko

東京農工大学工学部の強みは、誰もが“世界初”にチャレンジできることです。「新たな産業の創出」を目標に掲げ、社会のニーズを意識しながら、基礎から応用、実用化までをスムーズにつなぐ研究環境を整えています。2019年4月始動の新6学科では、自らの将来像を意識しながら複数の専門分野を学べるカリキュラムを整備。国際交流の機会も豊富に用意し、分野や国境を越えて活躍できるエンジニアを育成しています。

アドミッションポリシー (学生受入方針)

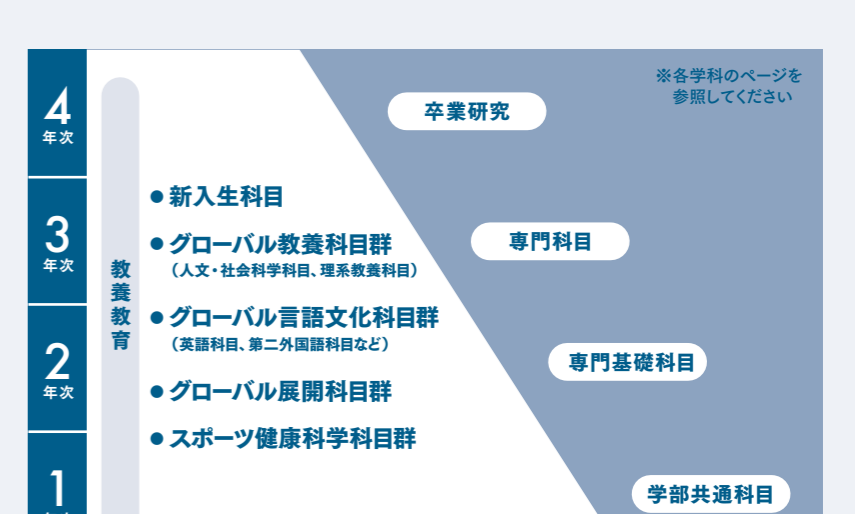
大自然の真理に対する探究心とモノ作りマインドを持ち、理工学分野の科学技術に関心があり、身につけた知識を生かして主体的に考え、他人と協力・協働して、持続可能な社会の実現に立ち向かう意欲を持った学生の入学を希望します。

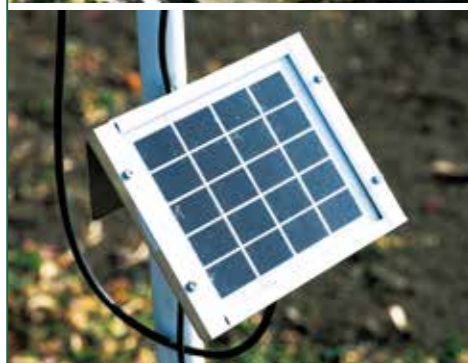
学びの目的・学びの特色

工学部においては、工学分野の科学技術に関する基礎および専門知識・技術、専門性を発揮するために役立つ論理的思考力、表現力、そして、多様性を受容する力や協働性を育む教養を学ぶ機会を提供します。主体性を持って人生を切り開いていくために必要な専門性を有するだけでなく、人類が直面している諸課題に対して、多面的に考察して判断し、他者と協働して課題解決に取り組む人材を養成することを目的としています。

学科名	学びのキーワード
生命工学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 再生医療 ■ バイオインフォマティクス ■ バイオセンサー ■ 抗体工学 ■ 創薬化学 ■ 植物工学 ■ 核酸工学 ■ バイオナノマテリアル ■ マリンバイオテクノロジー ■ バイオ燃料電池
生体医用システム工学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 医用超音波 ■ 医用光・電子デバイス ■ 生体医用光学 ■ バイオフィットクス ■ ロボット計測システム ■ 3次元画像 ■ 光応用計測 ■ 生体高分子
応用化学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 有機合成化学 ■ 分子エレクトロニクス ■ バイオマテリアル ■ 有機金属化学 ■ 電気化学 ■ 半導体化学 ■ 分子触媒化学 ■ グリーンケミストリー ■ 高分子合成化学 ■ ナノ医療
化学物理工学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 化学工学 ■ 低環境負荷・高効率生産システム ■ 環境発電技術 ■ 新素材創製 ■ 環境計測デバイス ■ エレクトロニクス ■ 機械情報コミュニケーション
機械システム工学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ ロボティクス ■ スマートモビリティ ■ 航空宇宙工学 ■ 生産システム ■ 先端材料 ■ エネルギー工学 ■ ナノ・マイクロシステム
知能情報システム工学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人工知能 ■ 信号処理 ■ バーチャルリアリティ ■ モーションコントロール ■ 電磁波 ■ 通信工学 ■ 計算機ネットワーク ■ パターン認識 ■ 計算機アーキテクチャ ■ マイクログリッド

4年間の学びの流れ (カリキュラム)





農業をあらゆる角度から研究し、人類を支える「食」の明日を担う生物生産学科。農業生産は環境の保全にも重要な役割を果たしており、再生可能なバイオマスエネルギーの供給源としても期待されています。

定員 **57**名

研究室 PICKUP



准教授 | 本林 隆
MOTOBAYASHI, Takashi

水生昆虫に農薬が与える影響を解明し、
環境と調和した生産技術を開発する

圃場に棲息する昆虫を、農薬・殺虫剤による影響からどう守るのか。私が取り組んでいるのは、「応用昆虫学」という研究分野。現在、一般的に使用されている農薬や殺虫剤は、害虫以外の生物にも悪影響を与えてしまいます。そのため、作物の生産性を維持しつつ、圃場で

暮らすさまざまな生物の多様性も維持できる農薬の成分や濃度、使い方を検証することが必要なのです。フィールドでの研究は思い通りにいかないことも多いですが、環境に調和した生産技術を開発することが、この研究の目標です。

本学科が目指すもの

農産物の生産から消費まで、人と自然を結びつける「農の営み」に関連する学問分野を幅広くカバーし、日本および世界の農業を広く深く理解するとともに、農業に関わる最先端の科学と技術に関する知識を身につけます。そして、その知識を国内外農業の持続的発展、農産物の流通・加工・消費、農業の多面的機能の積極的利用などに活かすことのできる人材の養成を目指しています。

カリキュラム

遺伝・発生・酵素反応など生物学の基礎から、光合成・養分吸収など生物生産機能の解析、群落構造・家畜飼養管理など生産プロセスの解析と技術開発、生産物の品質評価、生産物の流通・消費システムなど、多岐にわたる内容が体系的に構成されています。

学年	専門科目			
	学科共通科目	生産技術環境系科目	植物生産系科目	動物生産系科目
4 年次	卒業論文			
3 年次	農業微生物学 農産物製造学 生物生産学英語入門 English Listening and Reading for Biological production I English Listening and Reading for Biological production II アグリバイオ実験 学外実習(農家) 学外実習(研究所) 卒業論文	土壌環境学 作物保護学	園芸学II 植物育種学	家畜飼養学 家畜繁殖学 家畜育種・管理学 蚕糸学 昆虫利用学 家畜衛生学
2 年次	生化学 農業分野専攻実習 生物生産学実験基礎	土壌学 農業気象学		農業昆虫学I 家畜形態・生理学 農業昆虫学II
1 年次	生物生産学原論 情報処理・生物統計学	作物栽培学 フィールド実験実習I フィールド実験実習II		

学年	専門科目		
	農業経営経済系科目	新領域科目	学部共通専門
4 年次			
3 年次	農業市場学 国際農業開発論 農業数量経済分析 農業資源経済学 農業経営経済学総合演習 農村社会調査実習	バイオマスエネルギー論 生物生産学特別講義I 生物生産学特別講義II 食料リスクアナリシス 天然物有機化学 有機合成化学 微生物生化学	
2 年次	農業経済学 農業経営学 食料システム経済学	遺伝子細胞工学	学部共通専門科目
1 年次			

生物生産学科の学び

生産技術環境系	農業生産技術学/土壌学/植物栄養学
植物生産系	園芸学/作物学/植物育種学/国際生物資源学/遺伝子細胞工学
動物生産系	畜産学/動物生化学/昆虫機能生化学/蚕学
農業経営経済系	農業経済学/農業経営・生産組織学/農業市場学/国際地域開発学

卒業後の主な進路

- 経済産業省
- 文部科学省
- 東京都
- 飯能市
- 佐久浅間農業協同組合
- 農事組合法人成田ガイア
- ニチレイグループ
- 日本たばこ産業
- 日本ハム
- やまびこ
- 協和発酵バイオ
- ウイング
- 農中情報システム
- 三洋貿易
- 正栄食品工業
- 東京青果
- 住商フーズ
- 草津ナウリゾートホテル
- ライフシールド
- 多摩動物公園 など
- 進学
- 東京農工大学大学院
- 京都大学大学院
- 東京大学大学院 など

大学院進学後の主な進路

- 味の素AGF
- 大塚製薬
- 三井物産
- UCC上島珈琲
- ツムラ
- 日本政策金融公庫
- 東日本電信電話
- エスピー食品
- ヤマハ
- 領日観光
- 日本製粉
- ジョンソン・エンド・ジョンソングループ
- ヤンセンファーマ
- 出光興産
- 農業・食品産業技術総合研究機構
- 農林水産省 植物防疫所 など

取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許(理科)
- 高等学校教諭1種免許(理科・農業)
- 博物館学芸員

学生の声



澁谷 仁詩
SHIBUYA, Hitoshi

大学院連合農学研究所
農林共生社会科学専攻 博士課程1年
神奈川県立湘南高等学校出身

社会的・経済的なアプローチで
日本の農業の発展に貢献したい

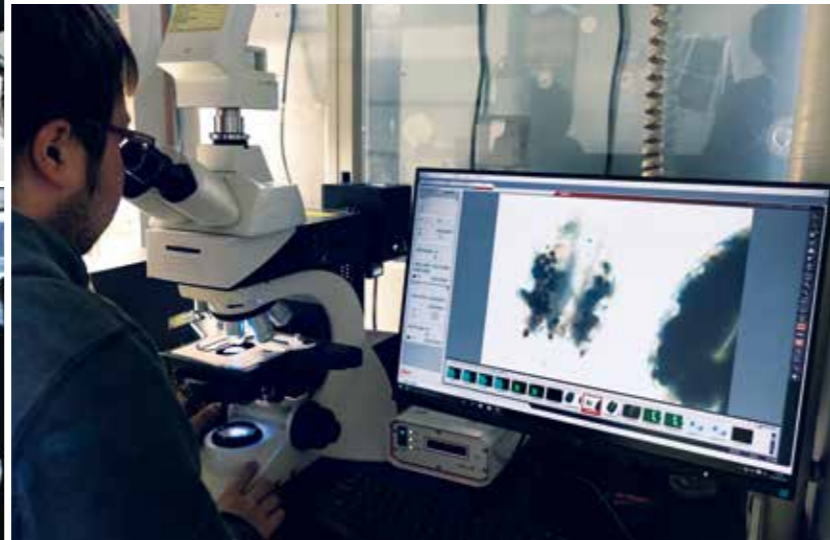
茨城県の農村地域を対象に、「大規模農業経営体」が地域農業に与える影響をフィールドワークで調査しています。大規模農業経営体とは、もともと家族で営んでいた農家が次第に規模を拡大し、従業員を雇用するようになり、他の農家の農地を預かったりするよう

なった組織のこと。農業の衰退が叫ばれている昨今、こうした大規模な組織の存在は、大きなメリットになるのではないかと考えています。将来は研究者として、社会的・経済的なアプローチから農業の発展に貢献したいです。

LABORATORY STUDENT VOICE



「生命」に未知の可能性を求めて 人類の発展に貢献する



化学と生物学を基盤とし、分子から細胞、個体、さらにはその相互作用まで一連の現象を解明・応用することで「生命」の未知なる可能性を解明し、人類に有益な生命科学の発展に貢献することを目的として研究を行っています。

定員 **71** 名

研究室 PICKUP



特任准教授 **鈴木文詞**
SUZUKI, Takeshi

ゲノム情報を読み解き、生物学的手法で 農作物の増産に寄与する

多様性の宝庫である昆虫やダニを研究材料として、農業害虫の防除から環境生物学の基礎研究まで複数のテーマを扱っています。例えば、ナミハダニは農業に対する抵抗性が極めて高い害虫で、新しい農業を開発しても数年で効果が低下します。そこで、目つけたの

がRNA干渉という生物現象。これを用いて、従来の化学合成農薬とは異なる、生物学的手法を取り入れた次世代農薬の開発に挑戦しています。農学と生物学の先端技術を組み合わせ、農作物の増産に貢献したいと考えています。

本学科が目指すもの

微生物、動物、植物などの生命機能を、化学・生物学を基盤として深く探究・理解することを目指します。バイオテクノロジーでは、バイオサイエンスの成果を食品・医薬・農薬をはじめとする生活関連有用物質の高度な生産に適用することを目標としています。バイオサイエンスとバイオテクノロジーの分野で活躍するための教育を行い、人類の発展に貢献できる人材を育成します。

カリキュラム

化学と生物学を基盤とし、分子、細胞、個体、個体と群集の活動、その相互作用に至る一連の生命現象と生物機能を解明し、生命科学の発展に貢献することを目的としています。そのため、「生命」と「生物」を身近なものとして捉えるカリキュラムを用意しています。

学年	学科専門科目	学部共通専門科目
4 年次	生物統計学 科学英語論文演習Ⅰ 科学英語論文演習Ⅱ 卒業論文	国際展開力科目Ⅰ 国際展開力科目Ⅱ 共通科目 海外研修科目 国際農学科目
3 年次	生体高分子化学 遺伝子工学 応用微生物学 食品化学Ⅱ 栄養化学 植物病理学 応用昆虫学 細胞工学 植物工学	食品工学 食品製造学 食品衛生学 農業科学 応用生物科学専門実験Ⅱ 応用生物科学専門実験Ⅲ 応用生物科学専門実験Ⅳ 応用生物科学専門実験Ⅴ 応用生物科学専門実験Ⅵ
2 年次	有機化学Ⅲ 生化学Ⅱ 分析化学 分子細胞生物学 動物生理学 有機合成化学 微生物生化学 天然物有機化学 機器分析化学 食品化学Ⅰ 生物相関学 バイオロジカルコントロール 応用生物科学共通実験Ⅰ 応用生物科学共通実験Ⅱ 応用生物科学専門実験Ⅰ	
1 年次	情報処理学 有機化学Ⅰ 生化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 分子生物学 植物生理学 植物保護学 農場実習	

応用生物科学科の学び

分子生命科学	生物化学/遺伝子機能制御学/発酵学/植物工学/遺伝子工学
生物機能化学	生物制御化学/生態情報化学/生物有機化学/食品化学/栄養生理化学/応用蛋白質化学/代謝機能制御学/応用植物生化学
生物制御学	植物病理学/応用昆虫学/応用遺伝生態学/相関分子生物学/分子環境生物学/細胞分子生物学

卒業後の主な進路

- | | |
|-----------|---------------|
| 学部卒 | ● 東京化成工業 |
| ● 農林水産省 | ● カネボウ化粧品 |
| ● 経済産業省 | ● 資生堂 |
| ● 東京都 | ● トヨタ自動車 |
| ● 横浜市 | ● クミアイ化学工業 など |
| ● 明治 | 進学 |
| ● 森永製菓 | ● 東京農工大学大学院 |
| ● 協和発酵キリン | ● 東京大学大学院 |
| ● 日本たばこ産業 | ● 京都大学大学院 など |
| ● 中外製薬 | |
| ● 日本化学工業 | |

大学院進学後の主な進路

- | | |
|-------------------|-------------|
| 修士 | ● 花王 |
| ● 農林水産省 | ● 北興化学工業 |
| ● 総務省 | ● 積水化学工業 |
| ● 特許庁 | ● 日産化学 など |
| ● 農業・食品産業技術総合研究機構 | 博士 |
| ● 明治 | ● 東北大学 |
| ● 雪印メグミルク | ● 日本大学 |
| ● 森永乳業 | ● 第一三共 |
| ● 小林製薬 | ● 森永乳業 |
| ● クノール食品 | ● キュービー |
| ● キュービー | ● 東京化成工業 など |
| ● 富士薬品 | |

取得できる免許・資格

- 食品衛生監視員・管理者 (任用資格)
- 中学校教諭1種免許 (理科)
- 高等学校教諭1種免許 (理科・農業)
- 博物館学芸員

学生の声



岡村麻代
OKAMURA, Mayo

大学院生物システム応用科学府
生物機能システム科学専攻 博士前期課程1年
私立吉祥女子高等学校出身

「ナミハダニ」の忌避物質を探索し、 害虫の防除に役立てる

私の研究テーマは、「ナミハダニ」という農業害虫を防除するための忌避物質の探索。殺虫剤に強い抵抗性を持つナミハダニに対し、「殺虫」ではなく「忌避」というアプローチから防除方法を調査しています。現在、私が調べているのは、ニコチンやバニリンといった植

物由来の二次代謝産物。こうした物質に対してナミハダニがどのような行動をとるかを細かく観察することで、防除に有用かどうかを調べています。今後はナミハダニが物質を感知する受容機構についても、さらに研究を深めていきたいです。

生物学、化学、物理学、地学など、環境と資源の問題に科学のメスを入れる「地球の医学」を学びます。地球からミクロの世界まで、ヒトを取り巻く「環境」の研究を通じて、循環型社会の構築に貢献していきます。

定員 **61** 名



環境と資源の問題にメスを入れる「地球の医学」を学ぶ



研究室 PICKUP



教授 | 渡邊 泉
WATANABE, Izumi

身近に存在する有害汚染物質をモニタリング 生態系への影響を客観的なデータで分析する

有害汚染物質の環境影響を研究しています。なかでも水銀、カドミウム、鉛、ヒ素といった重金属・生体微量元素と呼ばれるグループが主な研究対象。これらが生態系や人の健康にどのような影響を及ぼすのかを調査しています。対象は、水、大気、土壌、野生生物などが

まざま。高度な分析機器を用いて、データを収集します。福島原発、豊洲市場の地下水など、有害汚染物質の問題は身近な関心事。ぜひ当研究室で、環境汚染を客観的に見る目を養ってください。

本学科が目指すもの

環境問題は、人類すべてに共通する深刻な課題です。限りある化石燃料に依存した大量生産、大量消費、大量廃棄によって支えられてきた私たちの豊かさは、21世紀初頭の今、曲がり角を迎えています。環境資源科学科では、これからの人類が地球環境と調和して持続的に生きていくための環境資源科学を推し進め、環境問題の解決や循環型社会の構築に貢献できる人材を育成します。

カリキュラム

環境問題に対して、社会的ニーズに即した理解・行動ができる人材を育成します。環境と資源の広範囲な問題を対象とした生物学、化学、物理学、地学を基礎として広い知識を習得し、実験・実習・講義を組み合わせた多彩なカリキュラムで学びます。

学年	専門科目		
	学科基礎科目	学科専門科目	
4 年次		科学英語論文講読 卒業論文	
3 年次	代謝生化学 機器分析学I 水溶液化学 資源高分子物理学 環境資源有機化学 木質資源物理学 樹木生態生理学 微生物生理生態学 森林実習 機器分析学II 環境情報解析学 環境気候学 環境資源科学実験I(物理学応用) 環境資源科学実験II(化学応用) 環境資源科学実験III(生物学応用) 環境資源科学実験IV(地学)	生分解学 森林資源利用学 森林資源形成学 環境植物学 紙パルプ科学 住環境構造学 ライフサイクルアセスメント 資源分解・廃棄学 森林・林業論 環境分子生物学 環境アセスメント学 環境資源科学特別講義I 環境資源科学特別講義II 環境資源科学特別講義III 環境資源科学特別講義IV 環境資源科学特別講義V 環境資源科学特別講義VI	
	環境資源熱力学 森林資源科学 環境資源科学実習B 物質生化学 資源材料力学 化学結合論	大気化学 木質資源化学 陸水環境学 環境毒性学 資源高分子化学 植物組織形態制御学 エコマテリアル学 環境土壌学 環境汚染化学 環境微生物学 生態系生態学	
	情報処理学 地球化学 生態系管理学 環境資源科学実習A 環境分析化学 環境計測学	住環境学 資源リサイクル学 地圏環境学 大気環境学 海洋環境学	
	1 年次		

環境資源科学科の学び

環境物質科学/環境汚染解析/生物圏
変動解析/環境修復/植物環境/生活
環境/バイオマス・リサイクル

卒業後の主な進路

- 東京都
- ジョンソンコントロールズ
- 東急建設
- ナチュラルキッチン
- 進和テック
- パナソニック
- 中国木材
- 東京ガス
- NTTコム ソリューションズ
- 日商エレクトロニクス
- 東日本電信電話
- JFE商事
- ナイス
- NHS
- ユーロフィン分析科学研究所
- 講談社
- アジア航測
- パラドックス など
- 進学
- 東京農工大学大学院
- 京都大学大学院
- 東京大学大学院
- 琉球大学大学院 など

大学院進学後の主な進路

- 林野庁
- 愛知県
- 埼玉県
- エヌ・ティ・ティ・コムウェア
- 大建工業
- 日清紡ホールディングス
- 大和ハウス工業
- 関西ペイント
- 住友林業
- 朝日ウッドテック
- 鉄道情報システム
- TOMOEGAWA (巴川製紙所)
- 材料科学技術振興財団
- ハイモ
- ランドフローラ
- 水ing
- 日立ソリューションズ
- 栗田工業
- 住友化学
- 東芝デジタルソリューションズ
- ヤヨイサンフーズ
- 日比谷アメニス
- アストラゼネカ
- ザイエンス
- 東洋ビジネスエンジニアリング
- コニカミルタ など

取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許(理科)
- 高等学校教諭1種免許(理科・農業)
- 博物館学芸員

STUDENT VOICE

学生の声



築田理華子
TSUKITA, Rikako

大学院農学府農学専攻
自然環境資源コース修士課程1年
千葉県立船橋高等学校出身

木材を腐らせる「褐色腐朽菌」を分析 バイオマスエネルギー利用に役立てたい

木材は、バイオマスエネルギーとしての利用が期待できる再生可能な資源です。しかし、分解されにくく、エネルギーを得るのが難しい特徴があります。そこで私は、木材を分解できる木材腐朽菌の一種、褐色腐朽菌の研究を行っています。実験では、褐色腐朽菌によ

って腐ってしまった数種類の木材を用意し、顕微鏡を使って調査。木材腐朽のメカニズム解明に挑んでいます。今後は、遺伝子解析など多面的なアプローチで分析をする予定。木材バイオマスの有効利用に研究成果を役立てたいです。

ECOREGION SCIENCE
地域生態システム学科

森林、農村、都市などを含む空間をひとつの「地域」として捉え、そこに広がる生態系や生産・社会に着目した新しい研究を展開。自然環境と人間社会の生産活動が共存する地域環境空間の設計に挑戦します。

定員 **76**名



**生態系と資源の保全のために
地球規模で考え、地域で行動する**



研究室 PICKUP



准教授 | 白木克繁
SHIRAKI, Katsushige

**山に流れる雨水に着目し
健全な山の条件を数値化する**

主な研究内容は、森林における水の循環です。降雨による雨水が土壌をどのように動き、土砂の流出にどう影響を与えているのか。こうした観点から健全な森づくりを研究し、林業との連携や土砂災害防止にも力を入れています。そのため、2週に1度は山に足を伸ばし、森の中で降雨量や光環境を測定するなど、フィールドワークも盛んです。山の実態を肌で学んだ学生たちは、卒業後も自然環境に関わる省庁や企業でその経験を活かしています。

本学科が目指すもの

生態系と資源の保全・管理・活用などさまざまな問題を解決する社会の在り方を考え、野生動物や自然植生、森林・緑地・農地、農林業や農山村文化の新しい役割、人間と自然の調和を地域から地球的スケールで考えることを目的としています。広い視野で、実際のフィールドに立って問題を研究し、ボトムアップ型の思考でその解決を図ることのできる人材の育成を目指します。

カリキュラム

自然・応用科学から人文・社会科学にわたるさまざまな科目群をパッケージとして提示しています。そのパッケージの積み上げによって専門性を深めたうえで、学生一人ひとりの個性に合わせた教育を行い、さらに多彩な実習による実践的学習も可能にしています。

学年	専門科目			
	学科共通科目	パッケージ科目・推奨科目	実験・実習科目	
4 年次	地域生態システム学特別演習II 地域生態システム学特別演習III インターンシップ 卒業論文	持続的森林管理論 作物栽培学		
3 年次	地域生態システム学セミナー 地域生態システム学特別演習I インターンシップ	比較心理学 農村社会学 健康アメニティ論 インタープリテーション技術 造園学 動物環境生理学 リモートセンシング論 森林施設工学 砂防工学 森林立地学 農地環境工学 環境地盤工学 生物生産環境学 農用原動機学 熱工学 力学II 農業情報気象学 環境教育学	環境倫理学 比較行動学 国際協力論 農業市場学 景観生態学 自然誌学 森林施業論 森林政策学 木質資源利用学 ライフサイクルアセスメント 環境アセスメント学 農産プロセス工学 灌漑排水工学 生態水理学 共生社会思想 国際農林開発論 森林保護学	育林学実習 山地保全・砂防計画学実習 樹木学実習 農業環境工学実験 農業環境工学実習 農村地域計画学演習 野生動物保全学実習 比較行動学実験・実習 森林保護・樹木医学実習 森林土壌学実験・実習 森林生産システム学実習 農業環境工学演習 CAD設計演習
2 年次	地域生態システム学III インターンシップ	測量学 植生管理学 森林生態学 水文学 環境土壌物理学 農業経済学 空間情報学 土壌生態管理学 森林計画学 山地保全学 森林生産システム学 GISの基礎と演習 樹木学 力学I 土質力学	水理学 農村地域計画学 農業技術論 応用解析・情報学 環境哲学 環境文化史 環境公法 環境経済学 農業経営学 動物生態学 共生福祉論 野生生物保全技術論 野生動物保全学 環境生理生態学 バイオマス利用論	基礎測量学実習 地域社会システム調査実習 森林計画学実習 空間情報学実習 山地測量学実習 植生管理学実習 自然体験活動実習 学部共通専門科目
1 年次	地域生態システム学I 地域生態システム学II 地域生態システム学実習I 地域生態システム学実習II フィールド安全管理学 情報処理学	生物多様性保全学 水資源管理論 地域社会システム計画論 人と動物の関係論 地域社会調査法 動物福祉論		

地域生態システム学科の学び

生態系保全学	景観生態学/野生動物保護管理学/植生管理学/健康アメニティ科学
森林科学	森林土壌学/森林生態学/森林生物保全学/森林水文学/森林環境工学/森林人間系科学/森林計画学/森林利用システム学/森林資源管理学/山地保全学
農業環境工学	水利用学/生産環境システム学/生産環境制御学/地環境工学/耕地栽培システム学/エネルギー利用学/農村地域計画学/ファイトテクノロジー/農業情報工学/水資源計画学/地域空間情報学
共生持続社会	環境哲学/農村社会学/比較心理学/環境文化史/環境公法学/国際関係学/環境情報科学/環境教育学/共生福祉論

卒業後の主な進路

- 林野庁
- 埼玉県
- 千葉県
- 長野県警察本部
- 東京都
- 川崎市
- 国際農業者交流協会
- 農業生産法人こと京都
- エルゴテック
- 中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京
- 独立行政法人都市再生機構
- 日本工管
- メーブル
- 東京ガス
- ネットワンシステムズ
- エコーガ合同会社
- エーコーブ関東
- 大和証券
- アニコム損害保険
- 四門
- CSS技術開発
- NTCコンサルタンツ
- モノリス
- いまでや
- 医療法人社団同友会
- 京葉興業 など

大学院進学後の主な進路

- 東日本電信電話
- エスピー食品
- ヤマハ
- 日本製粉
- ヤンセンファーマ
- ジョンソン・エンド・ジョンソングループ
- 土浦農業協同組合
- 日建技術コンサルタント
- クボタ
- 日清食品
- サンスイコンサルタント
- 横浜市役所(造園職) など

取得できる免許・資格

- 測量士補
- 測量士(要実務経験)
- 中学校教諭1種免許(理科)
- 高等学校教諭1種免許(理科・農業)
- 樹木医補
- 博物館学芸員 など

LABORATORY STUDENT VOICE

学生の声



有吉 桜
ARIYOSHI, Sakura
農学部 地域生態システム学科3年
私立真和高等学校出身

**研究テーマは森林における「水の循環」
行政の仕事で森林保全に関わるのが目標**

もともと自然が好きで、森林科学などの分野に興味がありました。そこで進学先を調べ、演習林などでの実習が多い東京農工大学の農学部地域生態システム学科を選びました。1・2年次は、自然や環境に関する幅広い分野を学びます。例えば、神社や自然信仰に関する授業もあります。大学に入って、関心を持つようになったのは、森林における水の循環です。今後は、「水文学」と呼ばれるこの分野の研究に取り組む予定です。将来は、行政の仕事で森林保全に関わりたいと思っています。



動物と人の未来のために 高度獣医療技術を習得する



伴侶動物の健康と福祉の向上、野生動物の保護などを通じて、人間の健康や心の豊かさ、生活環境にも深く関わっています。共同獣医学科では、動物の疾病の治療や予防、その研究を通じて生命科学の進歩に貢献しています。

定員
35名 **6**年制

研究室 PICKUP



講師 | 井手香織
IDE, Kaori

犬の「慢性腸症」の病態を検討中。 より良い治療を目指した研究に挑戦

犬の腸炎の研究に取り組んでいます。炎症を抑える治療や腸内環境の改善など標準的な治療でも治療効果が不十分な症例が一部にいます。そこで、今はまだ知られていない病態を見つけることで、将来的には個々の病態別に合った治療方法を目指しています。具体的

には、犬にもヒトのIBS(過敏性腸症候群)に近い集団がある可能性を考えており、学生たちと検体の分析を進めています。臨床における治療技術の修得だけでなく、研究を通して新たな検査法や治療法の開発を目指しています。

本学科が目指すもの

岩手大学と緊密な教育連携を行い、平成24年度から東日本の獣医学拠点として共同獣医学科に改組しました。現在、東京農工大学には「動物医療センター」と「国際家畜感染症防疫研究教育センター」、岩手大学には「動物病院」と「動物医学食品安全教育研究センター」があります。家畜衛生や公衆衛生分野における獣医師養成と、高度獣医療技術の習得を目指しています。

カリキュラム

ベースとなる動物の疾病の診断・治療と予防を学び、関連領域の知識や技術を習得。その後、学年が進むにつれて臨床・応用科目へと進んでいきます。5年次からは、少人数制の研究室に所属し卒業論文制作と、獣医師国家試験合格を目指します。

学年	専門教育科目			
	基盤獣医学科目	実証獣医学科目	選択科目	専修科目
6年次			インターンシップ 海外実習	卒業研究
5年次	内分泌病・皮膚病学 代謝病・中毒学 血液免疫病学 神経病・運動器病学 泌尿器病・生殖器病学 臨床薬理学 臨床腫瘍学 臨床栄養学 画像診断学 画像診断実習	眼科学 総合参加型臨床実習I 総合参加型臨床実習II 総合参加型臨床実習III 総合参加型臨床実習IV 大動物臨床実習・基礎編 大動物臨床実習・応用編 総合参加型臨床実習V 総合参加型臨床実習VI 公衆衛生実践実習	インターンシップ 海外実習	卒業研究
4年次	獣医法規 動物感染症学 家禽病学 魚病学 動物病理学各論B(他臓器・組織) 病理学実習II 毒性学 毒性学実習 食品衛生学 食品衛生学実習 公衆衛生実践実習	呼吸器病・循環器病学 消化器病学 麻酔学・手術学 軟部外科学 小動物内科学実習・基礎編 小動物内科学実習・応用編 小動物外科学実習・基礎編 小動物外科学実習・応用編 動物行動治療学 繁殖機能制御学 臨床繁殖学 繁殖機能制御学実習 臨床繁殖学実習 産業動物臨床学I 産業動物臨床学II 馬臨床学	食品安全管理 動物病院経営学 インターンシップ 海外実習	獣医学演習
3年次	内分泌学 獣医代謝化学 生化学実習 基盤薬理学 統合薬理学 薬理学実習 病原微生物学 微生物学実習II 免疫学 原虫・原虫病学 蠕虫・蠕虫病・衛生動物学 寄生虫学実習	動物病理学総論 動物病理学各論A(主要臓器) 病理学実習I 公衆衛生学総論 疫学 人獣共通感染症学 環境衛生学 公衆衛生学実習 動物衛生学 動物衛生学実習 野生動物学 公衆衛生実践実習	内科学総論 外科学総論 臨床病理学	インターンシップ 海外実習 動物品種論 国際感染症制御学
2年次	運動器・神経系解剖学 内臓・脈管系解剖学 解剖学実習 組織学 組織学実習 統合生理学 器官制御生理学 生理学実習	獣医遺伝育種学 動物行動学 実験動物学 実験動物学実習 基礎放射線学 獣医基礎生化学 微生物学総論 微生物学実習I	人と動物関係学 動物園動物学	
1年次	獣医学概論 獣医倫理 発生学			

共同獣医学科の学び

基礎獣医学	獣医解剖学/獣医生理学/動物行動学/獣医薬理学
病態獣医学	獣医病理学/獣医微生物学/獣医伝染病学
応用獣医学	獣医毒性学/獣医衛生学/獣医公衆衛生学
臨床獣医学	獣医内科学/獣医分子病態治療学/獣医外科学/獣医画像診断学/獣医臨床繁殖学/獣医臨床腫瘍学/比較動物医学

卒業後の主な進路

- 厚生労働省
 - 農林水産省
 - 埼玉県
 - 茨城県
 - 横浜市
 - 特別区競馬組合
 - 警察庁科学警察研究所
 - 大原薬品工業
 - 大正製薬
 - 興和
 - 生化学工業
 - 科研製薬
 - アステラス製薬
 - 北海道中央農業共済組合
 - 千葉県農業共済組合
 - 東レ
 - オリックス
 - ヤクルト本社
 - アニコム損害保険
 - 日本中央競馬会
 - 阪大微生物病研究会
 - 日本生物科学研究所 など
- 進学
- 東京農工大学大学院
 - 東北大学大学院
 - 大阪大学微生物病研究所 など

取得できる免許・資格

- 獣医師国家試験受験資格
- 食品衛生監視員(任用資格)
- 食品衛生管理者(任用資格)
- 環境衛生監視員(任用資格)
- 飼料製造管理者(任用資格) など

学生の声



今井 諒
IMAI, Ryo

大学院農学府 共同獣医学専攻 博士課程1年
私立芝浦工業大学柏高等学校出身

豚のエンテロウイルスのゲノムを解明 食の安全を支える分野で役立てたい

私が研究しているのは、豚の腸管内で増殖するエンテロウイルス。近年、このエンテロウイルスと他のウイルスの間で、ゲノムの組換えが起きていることが発見されました。この現象が、エンテロウイルスの進化を示すものなのか、そして豚にどんな影響を及ぼすのかはまだ未知

数です。もしかすると、豚にとってメリットのある現象かもしれません。私はそうした仮説のもと、エンテロウイルスのゲノムの解明に取り組んでいます。将来は産業動物獣医師として、食の安全を支える分野でこの研究成果を生かしたいです。



健康社会に貢献する 先端生命工学研究に挑む



科学、生命科学、工学などの分野が融合した世界最先端の生命研究を行っています。日本の大学で初めて設置された生命工学科であり、生命現象の仕組みを理解し、それを応用して暮らしに役立つものを生み出すことを追究し続けています。

定員 **81** 名

研究室 PICKUP



特任准教授 篠原 恭介
SHINOHARA, Kyosuke

生物の健康を支える「繊毛」の機能を解明し、 気管支炎や不妊の治療法の開発に貢献する

「繊毛」という、生物の細胞の表面にある細かい毛に着目した研究をしています。繊毛は体内で水の流れを起こす役割を担っており、人間の健康を維持するうえで非常に重要なもの。機能不全に陥ると、気管支炎や不妊といった症状につながります。私の研究室ではマウスを

使用し、繊毛を構成するタンパク質、さらに遺伝子の機能まで綿密に調べています。繊毛の機能不全が引き起こす病気は、根本的な治療法がまだ見つかっていません。この研究を通じて、新しい治療法の開発に貢献したいと考えています。

本学科が目指すもの

生命工学科は、生命に関連する科学技術全てを包含するため、極めて多彩な学問領域を取り扱います。これらの学問領域の基礎知識を網羅的に習得した上で、最先端の技術力、論理的な思考力・実行力および国際的コミュニケーション能力を身につけた、あらゆる生命工学分野のニーズに即応して活躍できる国際的な技術者・研究者を養成します。

カリキュラム

1・2年次は専門基礎科目で生命現象の基礎知識を習得します。2年次後期からは専門科目で高度かつ最新の知識を提供。また2・3年次を通して実験・実習が組まれています。3年次後期から研究室に所属され、卒業論文のテーマを設定し、最先端の研究を行います。

	専門科目	
	専門基礎科目	専門科目
4年次		◎生体機能工学演習I・II ◎応用生物学実験I・II ◎応用生物学演習I・II ◎卒業論文 ◎生体機能工学実験I・II
3年次	◎ライフサイエンス基礎演習II	◎生命工学の最先端 I・II・III・IV ◎食品・医薬品開発工学 ◎生命科学英語II ◎医療・組織工学 ◎生命技術英語I・II ◎レギュラトリーサイエンス ◎免疫学・抗体工学 ◎応用生体電子工学・応用微生物学 ◎生理医学 ◎応用ゲノミクス ◎細胞再生工学・細胞医学 ◎生命工学実験III・IV ◎ナノバイオエンジニアリング ◎生命工学研究概論 ◎脳神経学 ◎研究室体験配属 ◎ケミカルバイオロジー
2年次	○バイオコンピューティング・ バイオインフォマティクス基礎 ○バイオ統計学・ アドバンスドバイオインフォマティクス ○物理学III ○生物物理化学I・II ○生命有機化学II ○生命分析化学 ○生命無機化学 ○機器分析学 ○生命化学II ○分子生物学II ○細胞生物学I・II ◎生命倫理・安全管理 ◎ライフサイエンス基礎演習I	◎生命科学英語I ○蛋白質科学 ○植物工学・蛋白質工学 ○先端機器分析学 ○環境/バイオテクノロジー・分子細胞工学 ○バイオセンシング ○メディスナルケミストリー ○マリンバイオテクノロジー ◎生命工学実験I・II
1年次	○統計学 ◎生命工学入門・ ◎化学基礎 医工学入門 ○物理学基礎 ○生命有機化学I ○物理学I・II ○生命化学I ◎生物学基礎 ○分子生物学I ◎基礎生物化学 (工学部共通) ◎微生物学 線形代数学I ◎基礎生物学実験 微積分学および演習I 線形代数学II 微積分学および演習II 地学 地学実験	

◎印の科目は必修、○印の科目は選択必修

生命工学科の学び

生体機能工学	細胞機能工学/生命分子情報科学/ 生体分子構造学/細胞分子工学/植 物情報工学/バイオビジネス/ナノ生命 工学
応用生物学	生命分子工学/海洋生命工学/生体 電子工学/分子生命化学/生命有機 化学/生命環境工学

卒業後の主な進路

- 第一三共
 - 田辺三菱製薬
 - 興和
 - 東和薬品
 - 積水メディカル
 - ニプロ
 - テルモ
 - ユニ・チャーム
 - 日本たばこ産業
 - 日清オイログループ
 - 雪印メグミルク
 - キュービー
 - 理研ビタミン
 - ヤクルト本社
 - 丸大食品
 - エステー
 - 日本曹達
 - 東洋インキSCホールディングス
 - NTTデータ
 - 東芝
 - シャープ
 - プリテストーン
 - オリジナル
 - ライオン など
- 進学
- 東京農工大学大学院
 - 東京医科歯科大学大学院
 - 東京大学大学院 など

取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許(理科)
- 高等学校教諭1種免許(理科)
- 博物館学芸員

STUDENT VOICE

学生の声



澤田 麻里
SAWADA, Mari

大学院工学部生命工学専攻博士前期課程1年
私立品川女子学院高等部出身

繊毛の機能不全が引き起こす 疾患の原因となる遺伝子を分析

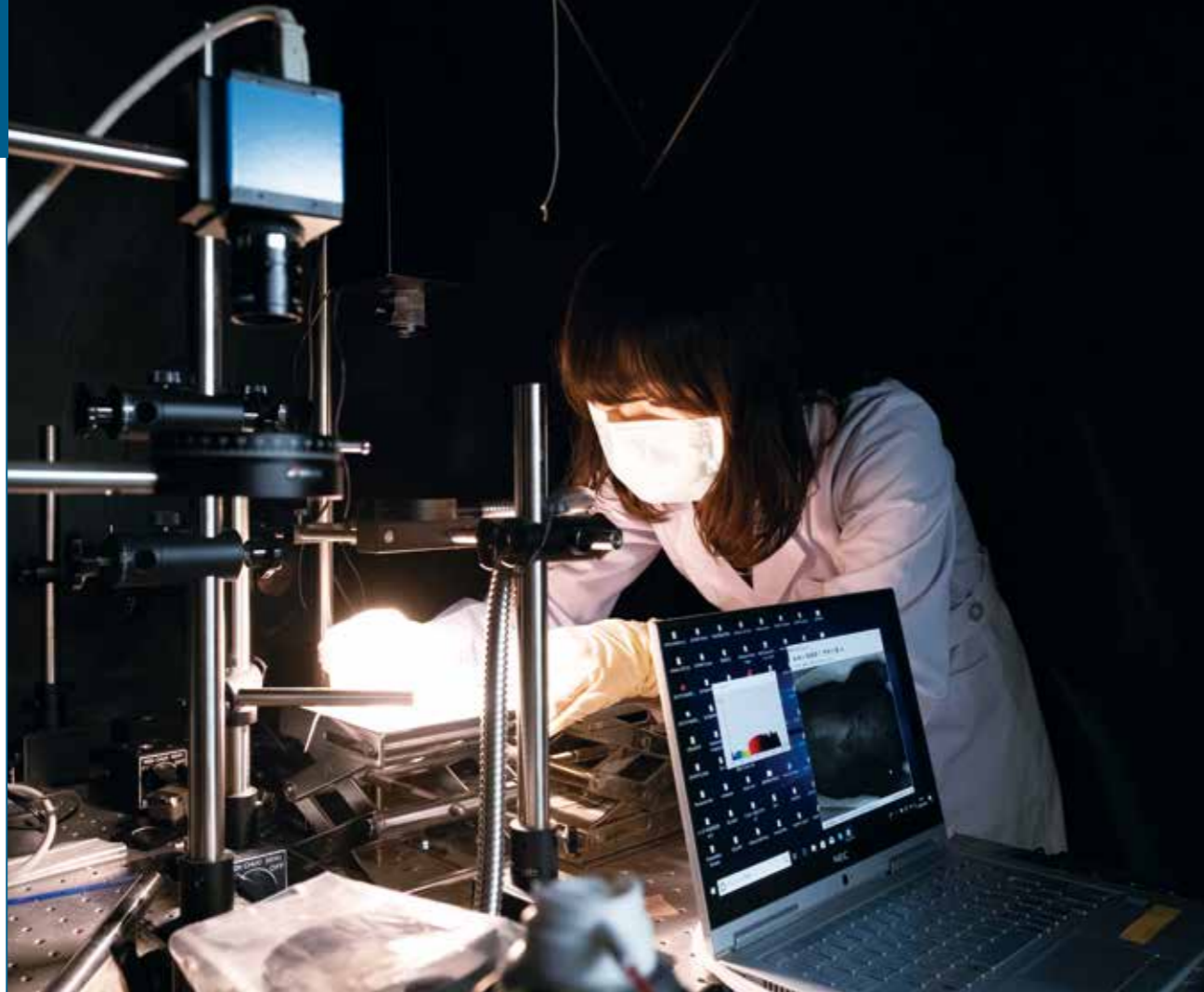
私の研究テーマは、「原発性繊毛運動不全症」という疾患の原因遺伝子について。この疾患は、ある遺伝子が先天的に欠損している動物において発症するため、その原因遺伝子の役割を調べています。具体的には、遺伝子を欠損させたマウスと野生のマウスを比較し、両者

の繊毛にどんな違いがあるかを分析。実験を通じて、遺伝子を欠損させたマウスは繊毛が機能しなくなるという結果が見えてきました。こうした遺伝子の研究が、将来的には人間の医療分野にも役立つと考えていると、大きなやりがいを感じます。

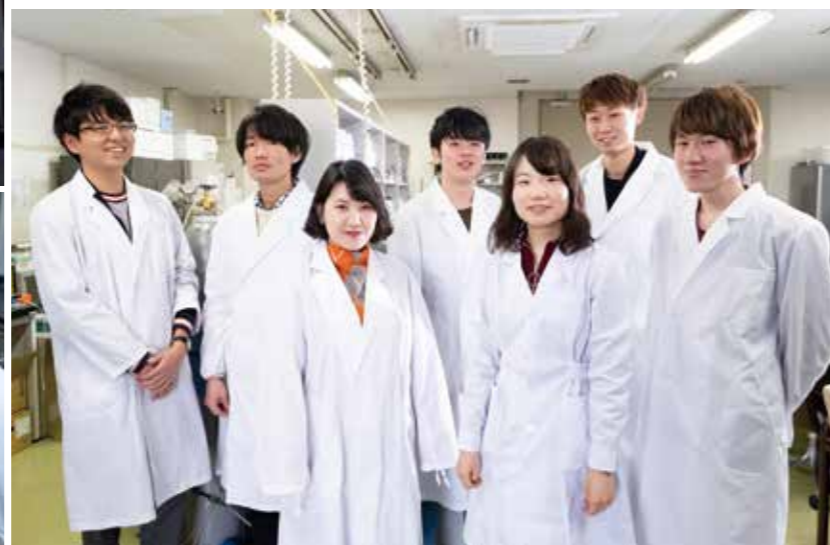
生体医用システム工学科
BIOMEDICAL ENGINEERING

現代医療における計測・診断技術に必要な物理学や電子情報工学等を融合した形で体系的に学ぶことで、従来の学問体系に捉われない柔軟な発想のもとに、革新的な生体医用工学技術の研究開発を行うことができる人材を養成します。

定員 **56**名



物理学+電子情報工学を学び、
未来の医療技術を創る



研究室 PICKUP



准教授 | 西舘 泉
NISHIDATE, Izumi

「光」を用いて生体情報を計測し、
身体に負担のない診断・治療技術を実現

「光」を使用し、人間の身体に負担をかけない診断・治療技術を研究しています。例えば、病気を診断するためには「採血」や「生検」という侵襲的な手法が一般的に用いられますが、私たちの研究室では、身体に光を当て、反射してきた光の波長特性を分析することで、様々な生

体情報を推測し、病気の診断に役立てようとしています。また、この「光」の技術を応用すれば、手術の際に、臓器の血流、組織への酸素供給や細胞の活性状態を非接触で調べることができます。医療の発展に技術面から貢献したいと考えている人にぴったりの研究テーマです。

本学科が目指すもの

さまざまな生体機能を細胞、遺伝子、分子・原子レベルで理解し、医用に資する革新的な計測・分析技術の創成を行います。さらに、医療現場における医療診断のニーズを踏まえた工学のシーズ応用を目指す教育研究を通して、国際社会をリードする研究者・技術者の養成を目指します。

カリキュラム

低学年次では、数学、物理学、生物学等に加え、医療機器や計測・診断技術のしくみにかかわる専門基礎科目について学びます。高学年次には、医療応用にかかわる医用フォトニクス、医用超音波工学、医用デバイス工学、医用メカトロニクス等について学びます。

	専門科目	
	専門基礎科目	専門科目
4 年次		◎生体医用システム工学特別演習I・II ◎生体医用システム工学特別実験I・II ◎卒業論文
3 年次	○病理学・薬理学 ◎生体医用工学II ◎生命倫理 ○化学物理 ○固体物理 ○光エレクトロニクス ○量子技術概論 ○医用超音波工学 ○医用メカトロニクス ○放射線化学 ○生体機能工学	○医用計測・機器 ○生体フォトニクス ○医用デバイス工学 ◎生体医用システム工学実験II
2 年次	◎数理統計学 ◎電磁気学応用 ◎連続体物理 ◎熱統計力学 ◎量子力学 ◎波動物理 ◎プログラミングIIおよび演習	◎電気回路 ◎電子回路 ◎生物学 ◎生体医用工学I
1 年次	◎工学基礎数学 ◎工学応用数学 ◎化学基礎 ◎生物学入門 ◎力学 ◎電磁気学概論 ◎プログラミングIおよび演習 ◎臨床医学概論 ◎生理学	〈工学部共通〉 線形代数学I 微積分学および演習I 線形代数学II 微積分学および演習II 地学 地学実験
		計測・制御 医用画像工学 AI 入門 科学英語ゼミ 抗体免疫学 臨床医学基礎I・II 生化学 特別ゼミII ◎生体医用システム工学実験I 特別ゼミI

◎印の科目は必修、○印の科目は選択必修

生体医用システム
工学科の学び

生体情報計測システム/生体医用フォトニクス/生体医用光学/半導体量子科学/生物物理学/光エレクトロニクス

卒業後の主な進路

- GEヘルスケア・ジャパン
 - キヤノン
 - 日立製作所
 - ニデック
 - 花王
 - エプソン
 - 島津製作所
 - 横河電気
 - パイオニア
 - 本田技研工業
 - ヤマハ発動機
 - 日本電気
 - アンリツ
 - 三菱電機
 - 住友電気工業
 - 東京ガス
 - 清水建設
 - 大成建設
 - 中国電力
 - 日本音響エンジニアリング
 - オリンパス
 - ソニー
 - コニカミノルタ
 - トプコン
 - シスメックス
 - パナソニック
 - 東京エレクトロン
 - 横河計測
 - トヨタ
 - 日産自動車
 - 富士通
 - NTTデータ
 - ダイキン工業
 - 村田製作所
 - 官公庁 など
- 進学
- 東京農工大学大学院
 - 他大学大学院 など

取得できる免許・資格

- ☑ 博物館学芸員

LABORATORY STUDENT VOICE

学生の声



徳田進之介
TOKUTA, Shinnosuke
大学院工学部 電子情報工学専攻
博士後期課程1年
私立成立学園高等学校出身

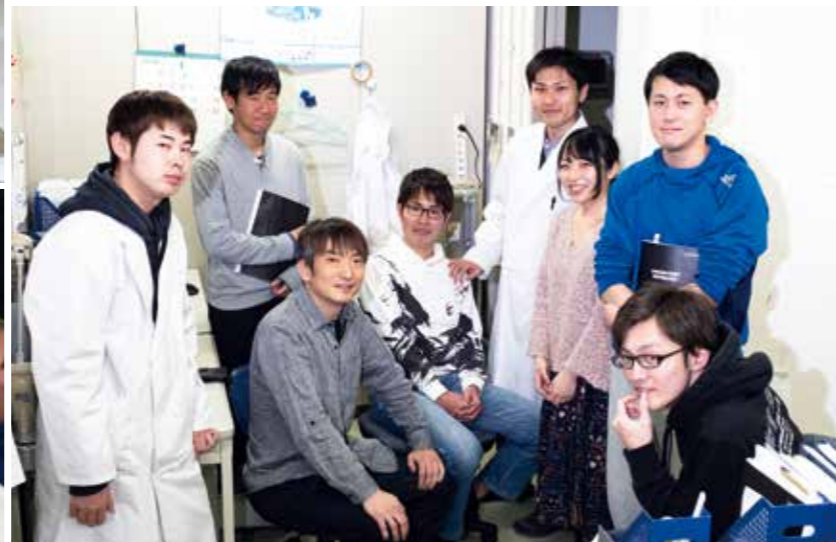
「超伝導」を用いた強力磁石で
医療機器の可能性を広げたい!

「超伝導」を用いた磁石の研究と開発に取り組んでいます。超伝導とは、物質をきわめて低い温度に下げたときに、電気抵抗がゼロになる現象のこと。この現象を利用して大量の電流を流せば、今までにない強力な磁石をつくることができます。現在は、磁石の材料となる

鉄などの元素を混合して試料をつくり、特性向上を目指している段階。これを実現できれば、強力な磁石を使用するMRI検査機器の小型化・低コスト化も可能になります。超伝導の応用技術を新たな医療機器の開発につなげていきたいです。



物質の構造や機能を理解し、 新しい物質・材料の創出へ



化学は物質の構造や機能を理解し、新しい物質を創り出す分野です。本学科では原子から高分子に至る幅広いスケールの化学物質の構造や機能などを対象とし、様々な分野において活躍できる独創性や応用力を身に付けた人材を育成します。

定員 **81** 名

研究室 PICKUP



教授 | 村上義彦
MURAKAMI, Yoshihiko

化学のチカラで医療に貢献! バイオマテリアル(医療用の材料)を開発しよう

私の研究室では、薬を放出するゼリー(ゲル)や、薬を体内に運ぶための入れ物(粒子)など、未来の医療に貢献するバイオマテリアル(医療用の材料)を開発しています。例えば、高分子化学のアプローチから「世界で一番軽い粒子」を作製して、肺へ薬を運ぶための入れ

物としての実用化を検討しています。医者は限られた数の患者しか向き合えませんが、バイオマテリアルは数え切れないほど多くの患者に役立ちます。化学や材料開発ならではの魅力に興味をもった人にぜひ入学してほしいです。

学生の声



小松玲子
KOMATSU, Ryoko

大学院工学府 応用化学専攻 博士前期課程2年
東京都立武蔵高等学校出身

抗がん剤となりうる化合物を 素早く簡単に合成するシステムの開発

抗がん剤となりうる化合物を効率よく、簡単に作るための合成法を研究しています。これまで別々の手法として用いられてきた「酵素反応」と「有機合成」というふたつの技術を組み合わせることで、今まで合成がとて難しかった化合物を素早くつくることが可能になりました。

酵素反応と有機合成を融合させていく手法に様々な工夫を加えて、思い描いた化合物を自在に生み出すシステムへ発展させることが私の目標です。がん細胞への効き目が異なる化合物を創り出すことができれば、抗がん剤開発の可能性も広がります。

本学科が目指すもの

原子から高分子に至る幅広いスケールの化学物質の構造や機能などを、講義、実験、研究の対象としています。有機化学、無機化学、物理化学、高分子化学等の基礎科目から、半導体化学、エネルギー化学、触媒化学、バイオ材料化学、高分子物性等の応用科目まで習得します。このように化学や材料科学の基礎から応用まで学ぶことによって、多様な化学・材料科学の領域や、化学と環境・食品・医薬等との境界・融合領域において活躍できる研究開発力が身につきます。

カリキュラム

化学に関する幅広い科目を無理なく着実に学習できるカリキュラムが用意されています。1~3年次の各学年には実験科目がバランス良く配置されており、卒業研究は研究室において化学の最先端領域の研究指導を受けられる体制が整えられています。

	専門科目	
	専門基礎科目	専門科目
4年次		<ul style="list-style-type: none"> ◎卒業論文 ◎応用化学セミナーI ◎応用化学セミナーII
3年次	<ul style="list-style-type: none"> 統計力学 構造化学 分子分光学 量子化学計算概論 エネルギー化学 化学工学 高分子物性I 高分子物性II 物性化学 セラミック化学 半導体化学 	<ul style="list-style-type: none"> 機器分析II 有機化学V 有機工業化学 有機金属化学 高分子化学II 生体材料化学II ◎論文・文献講読 ◎応用化学実験III ◎応用化学特別実験 ◎研究室体験配属
2年次	<ul style="list-style-type: none"> 物理化学II 反応速度論 量子化学I ◎物理化学演習 無機化学II 無機化学III ◎無機化学演習 有機化学III 化学結合論 ◎有機化学演習 材料電磁気学 光学基礎 生体材料化学I 環境物質化学概論 	<ul style="list-style-type: none"> 量子化学II 機器分析I 有機化学IV 高分子化学I ◎応用化学実験I ◎応用化学実験II
1年次	<ul style="list-style-type: none"> ◎応用化学入門 ◎物理化学I ◎無機化学I 分析化学 ◎有機化学I 有機化学II 力学概論 振動・波動の物理 ◎科学基礎実験 	<p>〈工学部共通〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 線形代数学I 微分積分学および演習I 線形代数学II 微分積分学および演習II 地学 地学実験
		化学英語

◎印の科目は必修

応用化学科の学び

応用化学

分子変換化学/光電子材料化学/分子設計化学/無機固体化学/電子エネルギー化学/分子触媒化学/高分子物理化学/有機高分子素材化学/有機物性化学/バイオ高分子材料/超分子・分子集積構造材料

卒業後の主な進路

- アステラス製薬
 - クラレ
 - クレハ
 - コニシ
 - 住友化学
 - 積水化学工業
 - 東ソー
 - 豊田合成
 - 日産化学
 - 三井化学
 - 三菱ガス化学
 - 三菱ケミカル
 - JXTGエネルギー
 - JSR
 - プリチストン
 - 横浜ゴム
 - 富士紡ホールディングス
 - 日本製紙
 - 日本軽金属
 - 三菱マテリアル
 - 日野自動車
 - 本田技研工業
 - GSユアサ
 - デンソー
 - 日本精工
 - キヤノン
 - パナソニック
 - 富士電機
 - リコー
 - 凸版印刷
 - ベンテック
 - キュービー
 - 雪印メグミルク など
- 進学
- 東京農工大学大学院
 - 東京大学大学院
 - 京都大学大学院 など

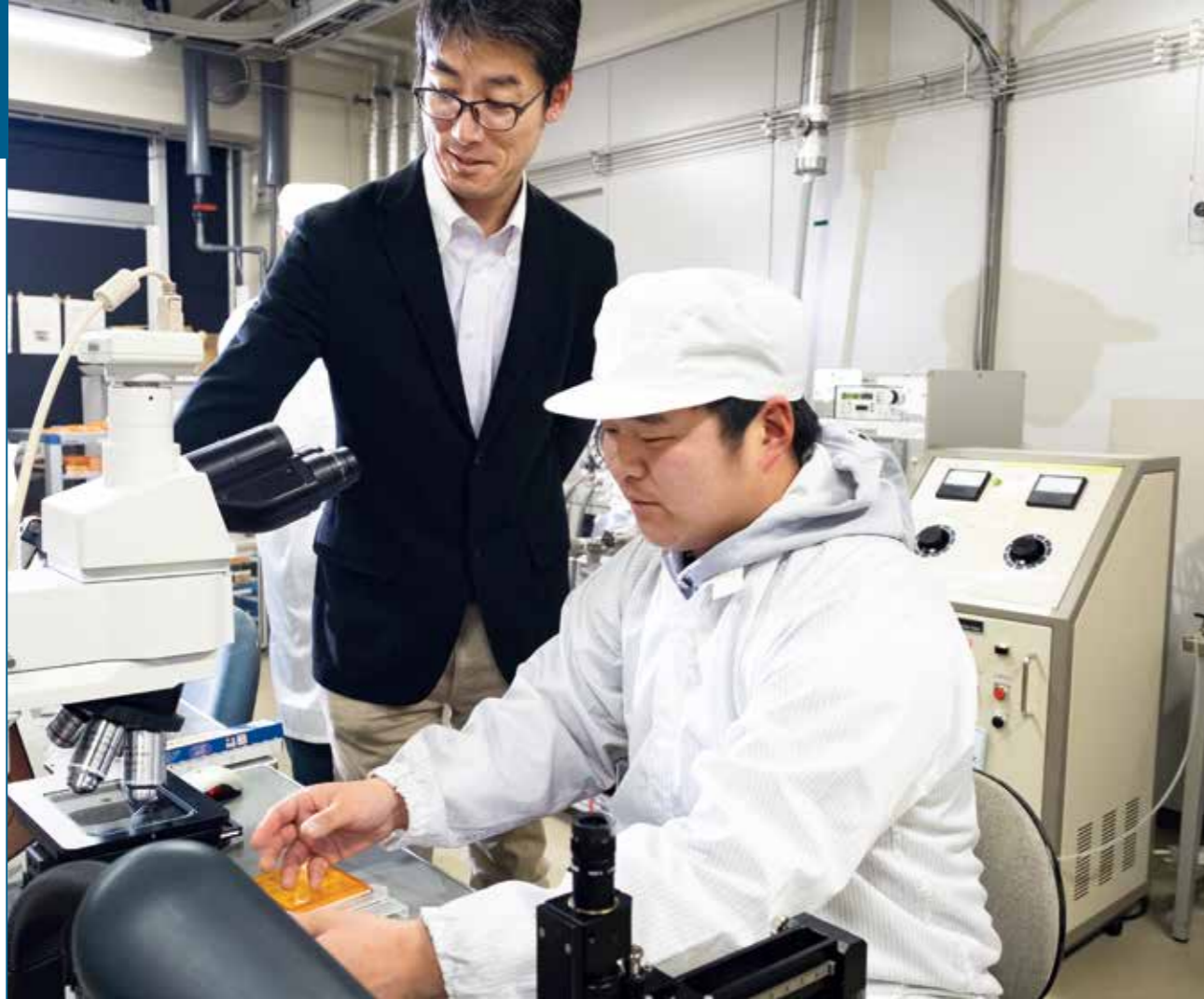
取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許(理科)
- 高等学校教諭1種免許(理科)
- 博物館学芸員

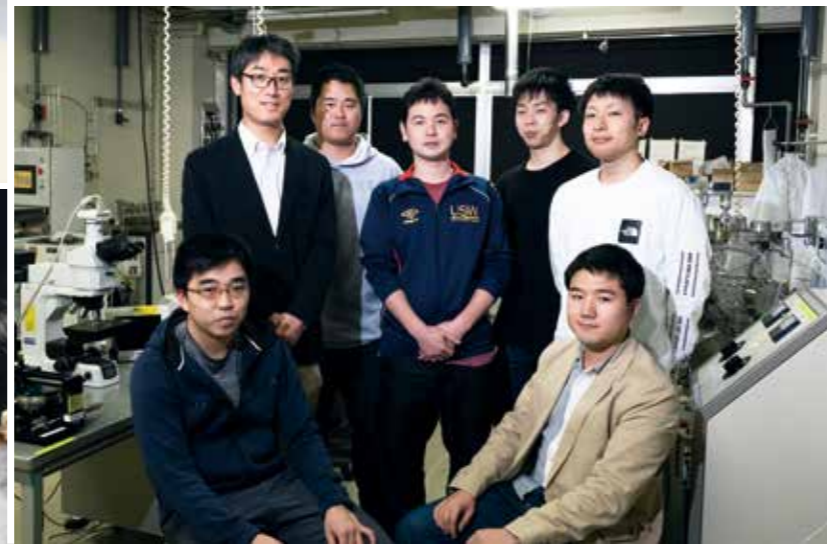
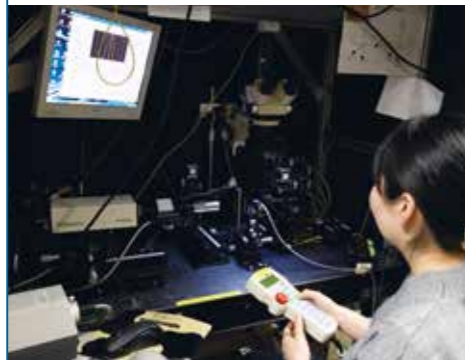
LABORATORY STUDENT VOICE

化学工学、物理工学、電気電子工学、機械工学など幅広い分野の専門家により、エネルギー、新素材から環境までを習得できるカリキュラムを整備。地球規模の課題を解決し、新産業を創出する課題解決力を備えた技術者を育成します。

定員 **81** 名



化学と物理の知識をベースに 持続可能な社会を実現する



研究室 PICKUP



准教授 | 清水大雅
SHIMIZU, Hiromasa

化学と物理学の高度な知識を融合した 光信号処理技術で新産業を創出する

光は電磁波の一種で、大容量の情報を送受信できる性質があります。半導体・ガラス・金属の中の光を利用した新しい光情報信号処理回路、および超高感度バイオセンサ・ガスセンサへの応用を目指しています。大気中の気体の濃度や、呼気に含まれる成分のわずかな

変化を測定することができる高感度センサは、外力や環境の変化に対して強さが変化する光の特性を活かしたものです。癌の早期発見や食品の衛生管理などに応用できる可能性もあり、社会を変革する新産業を生み出すのが研究室の目標です。

本学科が目指すもの

エネルギー・環境等の地球規模の課題を解決し、新産業を創出する課題解決力を身につけるには、化学と物理の総合的理解が必要です。本学科では、総合的理解が必要な課題、例えば「新素材を用いた高効率・低環境負荷のエネルギー変換デバイスの開発」など、社会的ニーズが高い課題に挑戦する高度グローバルエンジニアを育成します。化学・物理の総合理解という社会からの要請が強く反映された、他大学には存在しないオンリーワンの学科で学びましょう。

カリキュラム

数学、化学、物理などの基礎科目および、化学工学と物理工学をバランス良く履修するカリキュラムです。専門科目ではエネルギー、新素材、環境の3つのキーワードを重視し、科目群を用意しています。研究室配属により実践的な課題解決力を身につけます。

	専門科目	
	専門基礎科目	専門科目
4年次		プロセスデザイン工学 ◎卒業論文
3年次	○熱統計力学および演習 科学技術英語 画像情報工学	○エネルギープロセス工学 エネルギー変換工学 エネルギーシステム工学 ○環境工学 バイオプロセス工学 環境計測工学 ○電気電子材料工学 光エレクトロニクス 高分子工学
2年次	微分方程式I 微分方程式II ベクトル解析 数理統計学 生物化学 分析・機器分析化学	有機化学 ○移動現象論および演習 ○工業熱力学 ○エレクトロニクス基礎 ○電磁気学および演習 ○量子力学および演習 ○システム工学基礎
1年次	◎物理学基礎I ◎物理学基礎II ◎化学基礎 ◎化学物理基礎 ◎生物学基礎 ◎化学物理数学 ◎化学物理学概論 ◎化学物理学基礎 プロジェクト演習	○情報プログラミング ○無機化学基礎 ○有機化学基礎 ○ケミカルエンジニアリング基礎 (工学部共通) 線形代数数学I 微分積分学および演習I 線形代数数学II 微分積分学および演習II 地学 地学実験
		プロセス制御工学 ◎先端化学物理学概論 ◎化学物理学先端プロジェクト演習 ◎化学物理学実験I・II 反応速度論 拡散分離工学 粉粒体プロセス工学 電磁波工学 電気回路理論 電子デバイス工学
		電子物性工学 エンジニアリング製図演習 科学技術者倫理 インターンシップ 反応工学 ◎化学工学実験 ナノ量子材料工学 ◎物理学実験 ◎研究室体験配属
		情報応用プログラミング

◎印の科目は必修、○印の科目は選択必修

化学物理工学科の学び

化学物理工学

化学工学/応用物理学/化学エネルギー工学/環境バイオエンジニアリング/反応工学/分離工学/物性工学/異相界面工学/プロセスシステム工学/量子機能工学/基礎電子工学/量子機能集積工学/量子過程工学/量子光学工学/エネルギーシステム工学

卒業後の主な進路

- 三菱ケミカル
- 富士フイルム
- 日産自動車
- 花王
- 出光興産
- キャノン
- キュービー
- 千代田化工建設
- 住友化学工業
- 東ソー
- プリテクトン
- コニカミノルタ
- AGC
- TDK
- 日揮
- 三菱ケミカル
- NOK
- 高砂熱学工業
- 東洋インキ
- 日本化薬
- ユニチカ
- 三菱化工機
- 荏原製作所
- 大気社
- 凸版印刷
- クレハ
- 王子製紙
- オルガノ
- 富士ゼロックス
- 日立製作所
- 日本電気
- 島津製作所
- 横河電機
- トヨタ自動車
- パナソニック など

取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許(理科)
- 高等学校教諭1種免許(理科)
- 博物館学芸員

学生の声



鈴木翔吾
SUZUKI, Shogo

大学院工学府 電気電子工学専攻
博士前期課程2年
東京都立城東高等学校出身

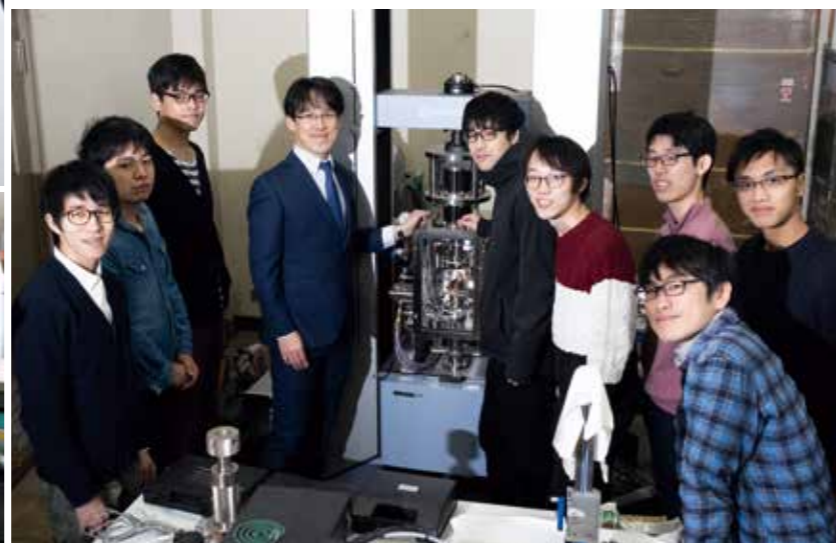
空気中の光の屈折率を検知する、 新たなガスセンサを開発したい!

金属の表面に光を集めてガスの濃度を検知するバイオセンサの開発に取り組んでいます。カギとなるのは、光と金属表面の電子が結合する「表面プラズモン共鳴」という現象。この現象は、光の屈折率によって共鳴する条件が変化し、ガスを検知することができます。金属の種

類や厚さ、レンズ等の光学機器を選んで、より高感度で検知できるように試行錯誤しています。この技術が実現できれば、従来とは異なるアプローチで、新たなセンサを開発できるはず。自分で新しいデバイスをつくりたい人にぴったりの分野です。



機械工学の専門知識を活用したイノベーションの実現をめざす



最先端の工作機械を用いた実験や実習を行い、ハードウェアからソフトウェアまでの幅広い分野を研究対象としています。これらの研究を通じ、環境と調和した、時代を超える次世代のハイパーマシンを創造します。

定員 **102**名

研究室 PICKUP



准教授 | 山中晃徳
YAMANAKA, Akinori

数値シミュレーションを用いて金属材料のミクロな構造を明らかにする

「材料」の力学的特性を向上させ、薄くて強い金属を実現するための基礎研究に取り組んでいます。具体的には、「フェーズフィールド法」「均質化有限要素法」と呼ばれる数学的手法を用いて、材料内部の構造がいかに形成され、力学的特性とどのような関係性を持つのかを予測。材料内部の現象を数式で表し、それを計算するためのプログラムを作成しています。今までにない材料設計法を実現し、次世代の社会が求める軽量かつ高強度な金属材料の技術開発につなげたいと考えています。

本学科が目指すもの

スマートモビリティ、デジタルものづくり、ロボティクス・ナノメカニクスという3つの軸を中心に幅広い機械系専門分野のダイバーシティをカバーする学科です。基礎となる力学、制御、数値解析、プログラミング、材料、設計、加工、精密計測、電子工学などを体系的に学び、「航空宇宙・機械科学」「ロボティクス・知能機械デザイン」の2コースで、機械エンジニアとしての根幹を深く太くし、スペシャリティの枝葉を伸ばし広げることができます。

カリキュラム

機械力学、熱工学、流体力学、材料工学などの機械製作に欠かせない知識と技術を身につけ、幅広く基礎を習得。2年次後学期から「航空宇宙・機械科学」と「ロボティクス・知能機械デザイン」の2コースに分かれ、興味のある科目を重点的に学ぶことができます。

	専門科目		
	自然科学基礎科目 (数学)(科学)	専門基礎科目	専門科目 航空宇宙・機械科学コース ロボティクス・知能機械デザインコース
4年次		科学技術英語	◎卒業論文
3年次	数理統計学 統計力学系解析 量子力学概論	工学倫理	塑性力学 伝熱学II 構造材料評価法 トライボロジ 数値流体力学および演習 機械材料工学II エネルギーシステム工学 エネルギー変換工学 宇宙推進工学 航空宇宙流体力学 有限要素法および演習 ガスタービン
			機械設計II 生産加工学II 計測・信号処理工学 ロボット工学 MEMS 車両工学 人体運動学 生産システム工学 人間科学計測法 振動制御および演習 メカトロニクスおよび演習
2年次	微分方程式II ベクトル解析 関数論 電磁気学 化学基礎 生物学基礎 連続体力学	流体力学I 機械材料工学I 制御工学I 機械設計I 伝熱学I 生産加工I	弾性力学 機械電子工学II 光工学 ※2年次後学期から2コース制に移行
			◎材料工学II ◎熱工学II ◎機械力学II ◎制御工学II ◎機械システム設計製図
1年次	微分方程式I 力学I 力学II	◎基礎ゼミ 機械システムデザイン 材料力学I 熱工学I 機械力学I 機械電子工学I (工学部共通) 線形代数学I 微積分学および演習I 線形代数学II 微積分学および演習II 地学 地学実験	◎機械製図法 ◎機械システム特別研究I
			◎コンピュータプログラミングI ◎コンピュータプログラミングII ◎機械システム工学実験I ◎機械システム工学実験II

◎印の科目は必修科目、○印の科目は両コース共通専門科目

機械システム工学科の学び

エネルギーシステム解析/流体力学/機械材料学/材料力学/弾塑性解析/機械要素解析/機械システム設計/熱流体システム設計/車両システム工学/精密計測工学/制御システム/機械電子工学/生産システム工学/機械解析幾何学/機械解析代数学/メカノフォトニクス/メカノビジネス/宇宙工学

卒業後の主な進路

- IHI
 - JFEスチール
 - 日本電気
 - NTTデータ
 - いすゞ自動車
 - オークマ
 - オリオンパス
 - カシオ計算機
 - カルソニックカンセイ
 - カワダロボティクス
 - サーマス
 - シチズン時計
 - SUBARU
 - セイコーエプソン
 - ソニー
 - ダイハツ工業
 - テルモ
 - デンソー
 - パナソニック
 - ファナック
 - フジクラ
 - プラザー工業
 - プリチストン
 - マツダ
 - ミクニ
 - ヤフー
 - リコー
 - 安川電機
 - 伊藤忠テクノソリューションズ
 - 横河電機
 - 古河電気工業
 - 三菱重工業
 - 三菱電機
 - 鹿島建設
 - 住友電気工業
 - 小松製作所
 - 日本製鉄
 - 積水化学工業
 - 川崎重工業
 - 竹中工務店
 - 電源開発
 - 東京ガス
 - 東京電力ホールディングス
 - 日揮
 - 日産自動車
 - 日本コロムビア
 - 日野自動車
 - 日立金属
 - 日立製作所
 - 富士通ゼネラル
 - 本田技研工業 など
- 進学
● 東京農工大学大学院 など

取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許(理科)
- 高等学校教諭1種免許(理科)
- 博物館学芸員

学生の声



上野安澄
UENO, Azumi

大学院工学府 機械システム工学専攻
博士前期課程2年
東京都立日比谷高等学校出身

目指すのは、遠く離れた人と人がロボットを介して触れ合える社会

人間の姿により近いロボットを開発するため、試行錯誤を重ねています。3Dスキャナーで人間の身体形状を記録し、ウレタン樹脂を肉質に使用して人間の骨格や動作も再現。どうしたらロボットが人間らしさを獲得できるのか、心理学や統計処理を用いた分析も行っています。このロボットに触れることで、離れていても人と人がコミュニケーションできる社会をつくるのが今の目標。設計から研究開発まで一貫して取り組んでいるため時間はかかりますが、いつかロボットがもっと身近になる社会を実現させたいです。

ELECTRICAL ENGINEERING AND COMPUTER SCIENCE
知能情報システム工学科

知能情報システム工学科では、コンピュータのしくみやプログラミングといった電気電子工学、情報工学の基礎を確実に身につけることができます。さらに最新のデータ処理技術、人工知能技術についても学ぶことができます。

定員 **120**名



**超スマート社会を支える
高度IT技術者・研究者を養成**



研究室 PICKUP



准教授 | 渡辺 峻
WATANABE, Shun

**数学の理論を応用した暗号技術で
情報社会のセキュリティ技術を支える**

私の研究室では、情報セキュリティ技術の基盤となる暗号理論の研究を行っています。例えば、オークションの際の入札額は、企業や個人の経済状況と直結する重大な機密情報になります。そのため、各自の入札額が漏れないように判定を行い、「一番高い入札者」だけ

がわかるシステムが必要となるのです。このように、「本当に重要なデータだけを出力する」ことを可能にするのが、私たちが研究している「秘密計算」の技術。数学の理論が情報社会で重要な役割を担っていることが実感できる学問です。

本学科が目指すもの

知能情報システム工学科では、人間と親和性の高い知的な情報システムの創出ならびに次世代の情報社会を支える基盤となる電子情報システムの構築に必要な教育研究を行います。これにより、現代社会が抱える諸問題の解決に貢献する高度IT/バージョン技術の創出および人材の養成を目指しています。

カリキュラム

知能情報システム工学科では基礎となるプログラミングや電気回路等の専門基礎科目に実験・演習を組み合わせることで「手を動かす教育」を行います。専門科目の履修には2つのコースを用意することで、幅広い知能情報システム工学分野の中でアイデンティティを確立します。

年次	専門科目			
	専門基礎科目		専門科目	
	数理情報工学	電子情報工学	数理情報工学	電子情報工学
4年次	○論文・文献講読 ○卒業論文			
3年次	○オペレーティングシステム ○言語処理系 ○ソフトウェア工学 ○コンピュータグラフィックス ○情報セキュリティ ○計算機ネットワーク ○データベース ○開数プログラミング ○数値最適化 ○先端数理情報数学 ○知能情報システム工学実験2 ○知能情報システム工学実験3 ○先端知能情報システム工学演習II ○先端知能情報システム工学実験IV ○ディジタル電子回路	○サステナブルエネルギー工学 ○メディア伝送工学 ○通信工学 ○量子力学概論 ○熱統計力学 ○パワーエレクトロニクス ○先端電子デバイス ○電磁波工学 ○先端電子情報数学 ○知能情報システム工学実験2 ○知能情報システム工学実験3 ○先端知能情報システム工学演習II ○先端知能情報システム工学実験IV ○ディジタル電子回路	○ヒューマンインタフェース ○パターン認識と機械学習 ○画像工学	○人工知能 ○VLSI設計 ○計測・制御工学
2年次	○離散数学 ○アルゴリズム序論 ○アルゴリズム序論演習 ○計算機アーキテクチャ ○計算機アーキテクチャ演習	○電磁気学I ○電磁気学II ○基礎電子回路 ○電子デバイスI	○オブジェクト指向プログラミング ○知能情報システム工学実験1 ○先端知能情報システム工学実験II ○先端知能情報システム工学実験III	○回路理論 ○電子物性工学 ○電子デバイスII ○マイクロプロセッサ ○知能情報システム工学実験1 ○先端知能情報システム工学実験II ○先端知能情報システム工学実験III
1年次	○線形代数I ○微分積分学Iおよび演習 ○線形代数II ○微分積分学IIおよび演習 ○地学 ○物理学基礎 ○微分方程式 ○幾何学 ○知能情報システム工学概論 ○プログラミングI	○プログラミングI演習 ○プログラミングII ○プログラミングII演習 ○コンピュータ基礎 ○基礎電気回路 ○論理回路 ○基礎回路演習 ○先端知能情報システム工学演習I ○情報化社会と職業	○先端知能情報システム工学実験I	○先端知能情報システム工学実験I

○印の科目は必修、○印の科目は選択必修

**知能情報システム
工学科の学び**

数理情報工学	システムソフトウェア/ネットワーク/セキュリティ/パターン認識/人工知能/ロボティクス/コンピュータグラフィックス/VR/ヒューマンインタフェース/計算機アーキテクチャ/アルゴリズム
電子情報工学	計測・制御工学/信号処理/画像工学/通信工学/電子材料・物性工学/ナノデバイス/パワーエレクトロニクス/ワイヤレス通信/電磁気学/電子回路/電子デバイス

卒業後の主な進路

- 日本電信電話
- エヌ・ティ・ティ・データ
- エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ
- 野村総合研究所
- KDDI
- 日本電気
- 日立製作所
- 富士通
- 三菱電機
- ソフトバンク
- TDK
- 東芝
- 古河電気工業
- カシオ計算機
- リコー
- ニコン
- キヤノン
- ソニー
- 横河電機
- 住友電気工業
- ヤマハ発動機
- みずほ情報総研
- みずほ銀行
- 三菱UFJ銀行
- 大日本印刷
- 凸版印刷
- 東日本旅客鉄道
- リクルートホールディングス
- 日本放送協会
- トヨタ自動車
- 本田技研工業
- 三菱自動車工業
- 日産自動車
- SUBARU
- 小松製作所
- 日立ソリューションズ・テクノロジー
- 日立国際電気
- ルネサス エレクトロニクス
- 電源開発
- 東京電力ホールディングス
- 東京エレクトロン
- 東京ガス
- 関電工
- ディー・エヌ・イー
- ソニー・インタラクティブエンタテインメント
- 任天堂
- セガゲームス
- ヤフー
- スクウェア・エニックス・ホールディングス
- バンダイナムコオンライン
- SCSK
- サイバーエージェント
- 大学教員
(大学院博士後期課程修了生)
- 国家公務員総合職 など

取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許(数学)
- 高等学校教諭1種免許(情報・数学)

LABORATORY STUDENT VOICE

学生の声



三輪 魁斗
MIWA, Kaito

大学院工学府 情報工学専攻 博士前期課程1年
山口県立小野田高等学校出身

**「プラズモン現象」で発生する熱を利用し、
新たなイメージセンサーの機構をつくる**

カメラのイメージセンサーに使用する「フォトディテクター」の新たな機構を開発しています。従来のイメージセンサーは半導体で光を電気信号に変換していますが、私が開発しているのは、光の波長と金属内の電子が共鳴する「プラズモン」という現象を利用したもので、プラ

ズモンが起こる際に発生する熱を、熱電変換で電流として検知することで、画像を生成するという仕組みです。実用化に向けて、まだまだ課題は多いですが、実験を通じて一歩ずつ着実に結果を出していくことにやりがいを感じています。

大学院 GRADUATE SCHOOL

学府

工学府
農学府
生物システム応用科学府

研究科

連合農学研究科

研究院 (教員が所属)

農学研究院
工学研究院

学部で身につけた知識や実験・実習のスキルを活かして、自ら研究課題を見つけ出し、解決方法を模索していくのが大学院の学び。研究課題に関するコミュニケーションや発表のスキルも磨くことができます。企業や行政機関の研究職を目指す場合、大学院の研究、ラボ活動の経験が、将来の選択肢を広げてくれます。また、大学で研究を続け、研究者・指導者を目指すこともできます。

工学府

博士前期課程・博士後期課程・
専門職学位課程

博士前期課程に6専攻、専門職学位課程1専攻、博士後期課程に4専攻と、東京外国語大学及び電気通信大学と連携し共同専攻「共同サステナビリティ研究専攻」を2019年4月に設置。所属する専攻の講座で高度な専門性を身につけるほか、他の専攻や企業などとの連携、共同研究を通して横断的・学際的な研究に取り組むこともできます。工学府は社会にも広く開かれた学びを展開しており、企業や研究機関に所属する研究者なども就業しながら博士後期課程を修了することができます。

博士前期課程
<ul style="list-style-type: none"> 生命工学専攻 応用化学専攻 機械システム工学専攻 物理システム工学専攻 電気電子工学専攻 情報工学専攻
博士後期課程
<ul style="list-style-type: none"> 生命工学専攻 応用化学専攻 機械システム工学専攻 電子情報工学専攻
博士課程 (後期3年)
<ul style="list-style-type: none"> 共同サステナビリティ研究専攻
専門職学位課程
<ul style="list-style-type: none"> 産業技術専攻

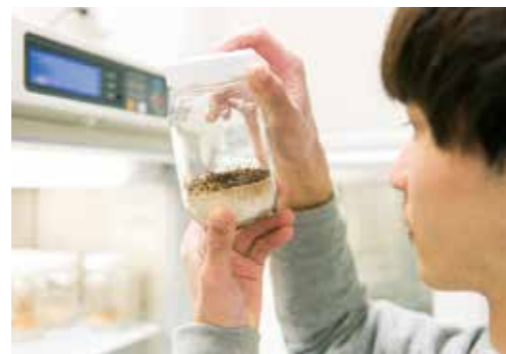


農学府

修士課程

「農学」を基盤として地球規模の課題に挑める人材を育成するために、農学府(修士課程)は2019年4月、改組を行いました。旧来の9専攻のすべての分野を1専攻に集約し、専門分野間の学術交流を活性化します。また、海外の研究留学や提携大学とのダブルディグリープログラムも整備。グローバル社会のニーズに応えるスキルの養成にも注力します。

修士課程
<ul style="list-style-type: none"> 農学専攻 ● 生物生産科学コース ● 応用生命化学コース ● 自然環境資源コース ● 食農情報工学コース ● 地球社会学コース ● 国際イノベーション農学コース



生物システム応用科学府

博士前期課程・博士後期課程・一貫制博士課程(5年)・博士課程(後期3年)

「生物に学び、新しいシステムを創造する」をコンセプトとし、農学、工学およびそれらを融合した学際領域の教育研究を行っています。生物機能システム科学専攻(博士前期課程・博士後期課程)および、実践科学リーディング大学院プログラムの教育拠点である食料エネルギーシステム科学専攻(一貫制博士課程(5年))、さらに早稲田大学との共同専攻である共同先進健康科学専攻(博士課程(後期3年))を設置して新しい科学技術を創造するためのさまざまな取り組みを行っています。

博士前期課程
<ul style="list-style-type: none"> 生物機能システム科学専攻
博士後期課程
<ul style="list-style-type: none"> 生物機能システム科学専攻
一貫制博士課程(5年)
<ul style="list-style-type: none"> 食料エネルギーシステム科学専攻
博士課程(後期3年)
<ul style="list-style-type: none"> 共同先進健康科学専攻



修了後のキャリア

旭化成/ソニー/全日本空輸/オリンパス/パナソニック/東京エレクトロン/日産自動車/プリマム/キャノン/日揮/村田製作所/花王/トヨタ自動車 ほか

大学院農学府 共同獣医学専攻

4年制博士課程

共同獣医学専攻の卒業生は、岩手大学と共同で設置している獣医学の大学院博士課程(修業年限4年)に進むことができます。動物基礎医学、獣医衛生科学、獣医臨床医学のうちのひとつに所属して研究を進めます。

4年制博士課程
<ul style="list-style-type: none"> 共同獣医学専攻



連合農学研究科

博士課程(後期3年)

本学、茨城大学および宇都宮大学の大学院農学研究科(農学府)修士課程を母体として編成された博士課程のみの大学院です。学生1名に関係分野の教員3名を指導教員として配置し、濃密で効率的な研究指導体制をとっています。全学生の約3割が留学生という国際色豊かな大学院です。

博士課程(後期3年)
<ul style="list-style-type: none"> 生物生産科学専攻 応用生命科学専攻 環境資源共生科学専攻 農業環境工学専攻 農林共生社会科学専攻

修了後のキャリア

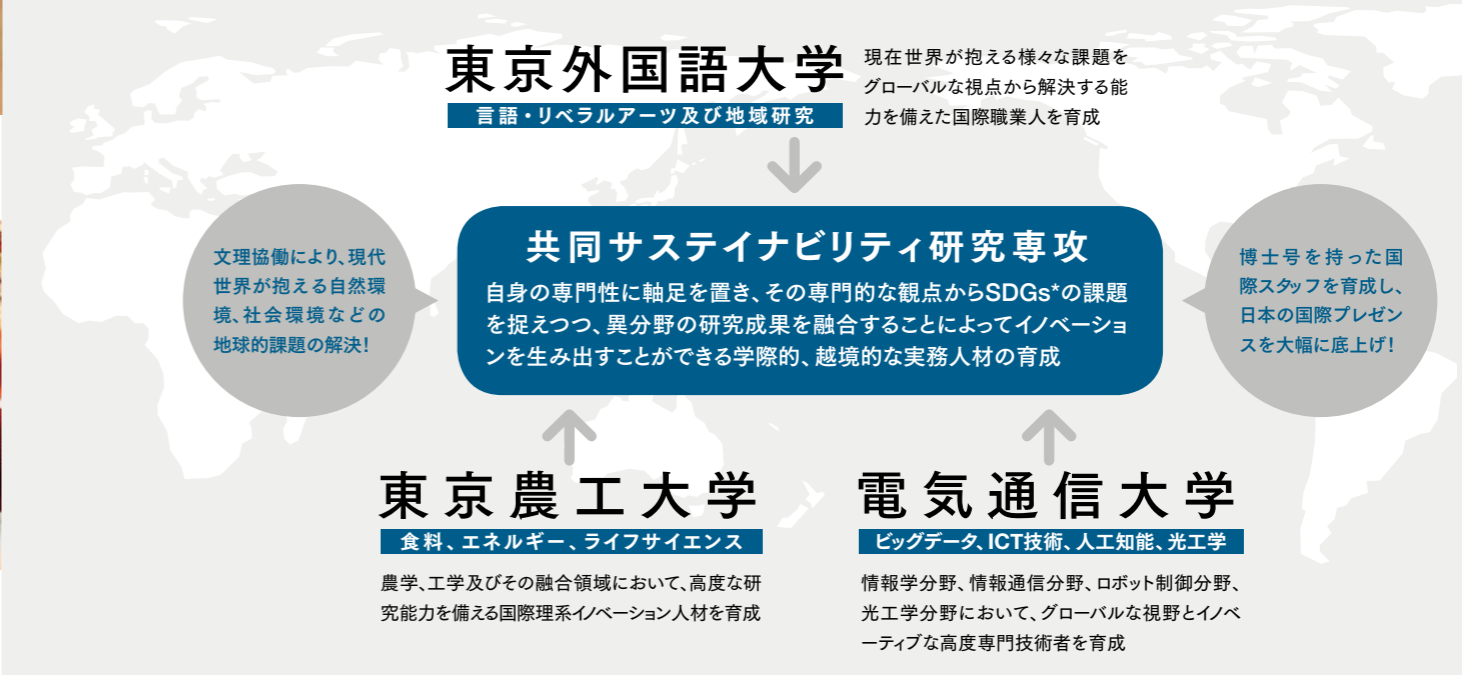
東京農工大学/茨城大学/千葉大学/秋田県立大学/農林水産省/農研機構/理化学研究所/東京都/University of California-Davis/カセサート大学/マレーシア工業大学/野村證券/森永乳業/第一共/キュービー/中部電力/アジア航測 ほか



西東京三大学連携による共同大学院

東京外国語大学 × 東京農工大学 × 電気通信大学

工学府(博士課程)「共同サステナビリティ研究専攻」



CAREER

キャリア支援/進路・就職

進路(就職・進学)ガイダンス(平成29年度参考)

- 4月
 - 進学説明会 博士課程進学について
 - 一般説明会 就職活動の流れと心構え
- 5月
 - 公務員説明会 試験勉強の進め方ほか
 - 一般説明会 インターンシップ講座ほか
- 6月
 - 大学院進学説明会 奨学金・授業料免除制度の紹介ほか
 - 一般説明会 業界研究セミナー
- 10月
 - 一般説明会 就職活動のはじめ方ほか
 - 企業別説明会 合同企業説明会

- 11月
 - 公務員説明会 人事担当者等による合同説明会ほか
 - 留学生向け説明会 就職ガイダンス
- 12月
 - 一般説明会 就職内定者による体験談ほか
 - 企業別説明会 就職ガイダンス
- 1月
 - 一般説明会 OBによる合同セミナーほか
- 2月
 - 模擬面接講座 面接の実践とポイント
- 3月
 - 一般説明会 エントリーシートについて
 - 模擬面接講座 面接の実践とポイント
 - 企業別説明会 合同企業説明会ほか

東京農工大学では、大学院への進学率が高いため、大学院を修了した後に就職する学生が多いことが特徴です。また、本学では、学生各人が自己の能力・適性に合わせた職業選択をできるように、進路・就職の指導および情報提供をしています。進路(就職・進学)ガイダンス日程等の詳細については、ホームページ・学生Web掲示板等で案内しています。

進路・就職サポート

“未来の自分探し”をお手伝い

東京農工大学では、学生一人ひとりの進路や就職に関する悩みや相談に応えられるように、豊富な経験と知識を有する相談員(キャリア・アドバイザー)を学外から招へいし、みなさんの相談に応じています。また、就職情報コーナーを各キャンパス学生支援室に設け、随時企業情報の収集等ができるようにしています。



学部卒業生・大学院修了生の 地方・国家公務員就職者数

年度	地方公務員	国家公務員
2017	49人	22人
2016	48人	31人
2015	52人	18人

※農学部・工学部卒業生、農学部・工学部修了生の合計

内定者 INTERVIEW

加藤晴朗

KATO, Haruro

農学部 応用生物科学科 卒業
大学院農学部 応用生命化学専攻 修了
花王株式会社 内定



微生物を使った新商品を開発したい!

在学中は、日本の醸造産業において伝統的に用いられている黄麹菌の研究に取り組んできました。就職活動では、実際に人に使われ、人の生活をより豊かにできる商品開発をしたいと考え、化学系・食品系メーカーの研究職を志望。面接では、研究成果を産業につなげるアイデアなどをアピールしました。内定先の花王株式会社は、幅広い商品を手がけるメーカー。まずは研究職の経験を積み、いずれは微生物の技術を使った新商品の開発に挑戦したいと思っています。

内定者 INTERVIEW

佐藤文哉

SATO, Fumiya

工学部 機械システム工学科 卒業
工学部 機械システム工学専攻 修了
トヨタ自動車株式会社 内定



夢は世界に通用する車の安全技術の開発

もともと自動車が好きで、学部3年次に現在の内定先であるトヨタ自動車株式会社のインターンシップに参加。そこで与えられた課題は自動車の乗り心地を向上させるための「プレビューサスペンション制御」の研究でした。その後は大学でも同研究を続け、カメラを用いた路面スキャンングなど、情報工学の技術も習得し内定を獲得。自動運転技術や先進予防安全技術の開発に挑戦し、世界の自動車メーカーを技術力で超えられるよう貢献したいです。

卒業生 INTERVIEW

服部広葉

HATTORI, Hiroha

農学部 地域生態システム学科 卒業
御殿場総合サービス株式会社 勤務



林業の最適化と、国産材の利活用を推進

間伐などの整備が遅れた森林を調査し、整備計画の策定から実行までを担当しています。林業においては、間伐の遅れが不均衡な成長や価値の低下に直結してしまうため、整備がとても重要なのです。学生時代は木材の植林から伐採、利用までのCO2の動きと環境への影響を分析する研究をしていました。実践的な内容の実習も多く、当時の経験が、現在の業務にも活かされています。将来、整備に関わった森林から立派な木材が収穫できたらうれしいです。

卒業生 INTERVIEW

荻原信宏

OGIHARA, Nobuhiro

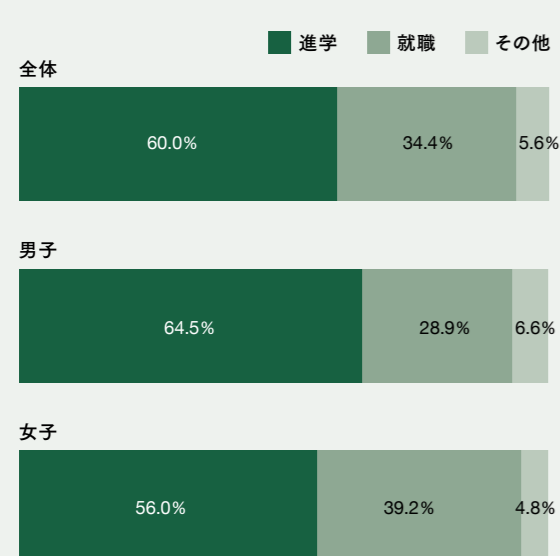
工学部 応用化学科 卒業
大学院工学研究科 応用化学専攻
博士後期課程(当時) 修了
株式会社豊田中央研究所 勤務



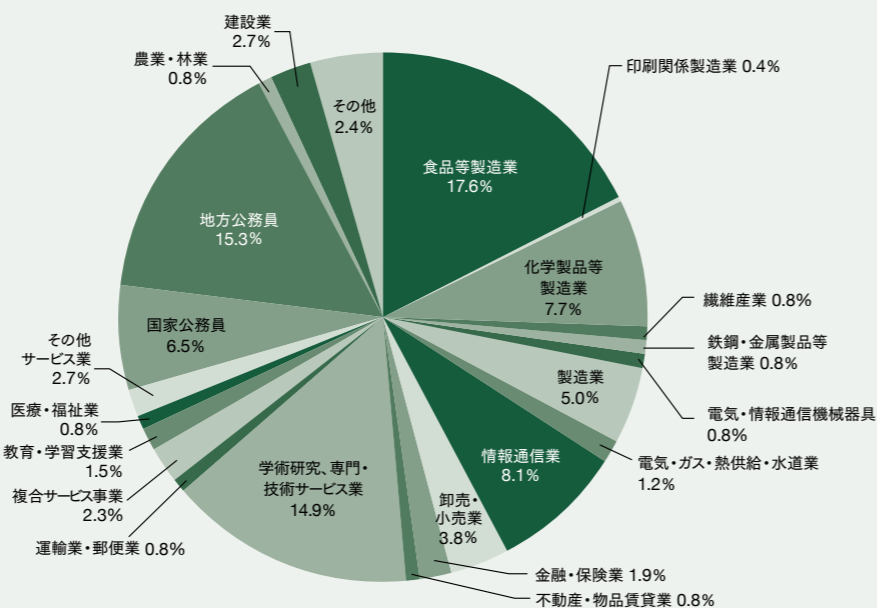
自動車用の次世代型蓄電技術を開発

自動車電動化のコア技術である蓄電デバイスを開発しています。新たな電極材料の開発から、理想的な蓄電装置といわれるキャパシタの性能向上に向けた基礎研究、実用化に近い応用研究まで、「蓄電」に関する幅広い研究に取り組んでいます。化石燃料が枯渇に近づき、温暖化も進行している現在、蓄電デバイスの研究成果は持続可能なエネルギー社会の実現に貢献できるはず。開発した技術が社会で広く使われていくことにやりがいを感じています。

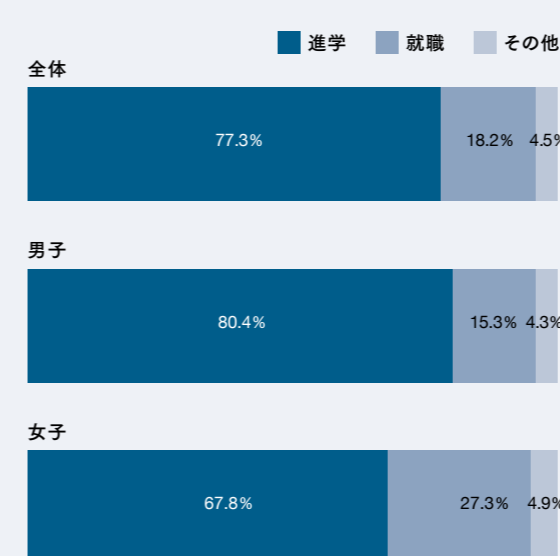
2017年度 学部生(農学部)の進路状況



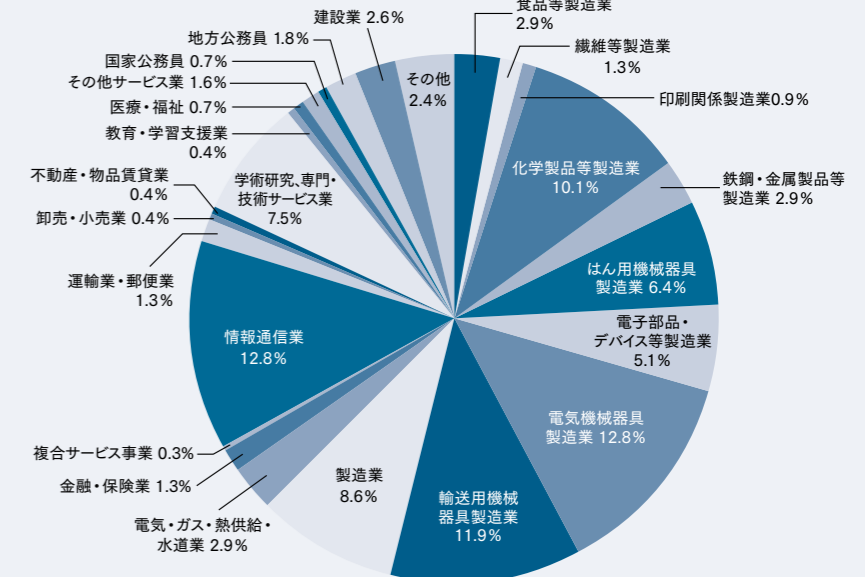
2017年度 学部卒業生(農学部)・大学院修了生(農学部)の就職先状況



2017年度 学部生(工学部)の進路状況



2017年度 学部卒業生(工学部)・大学院修了生(工学部)の就職先状況





農学部本館

FUCHU CAMPUS



先進植物工場研究施設



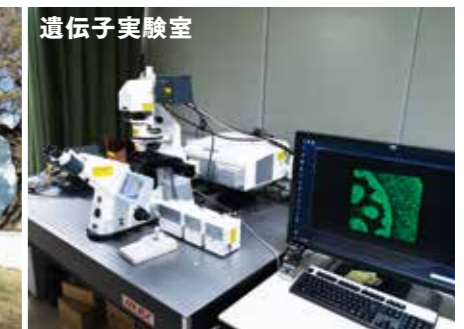
農工夢市場



本館 大講堂



動物医療センター



遺伝子実験室

府中キャンパス

東京都内にありながら、約27万平方メートルという広大な敷地を誇る府中キャンパス。緑あふれる構内には、講義棟や研究棟、先進の研究施設が設置されており、自然に恵まれた環境で学ぶことができます。さらに、広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センターの農場が広がっています。



馬術部



檜寮



農学部食堂



中庭



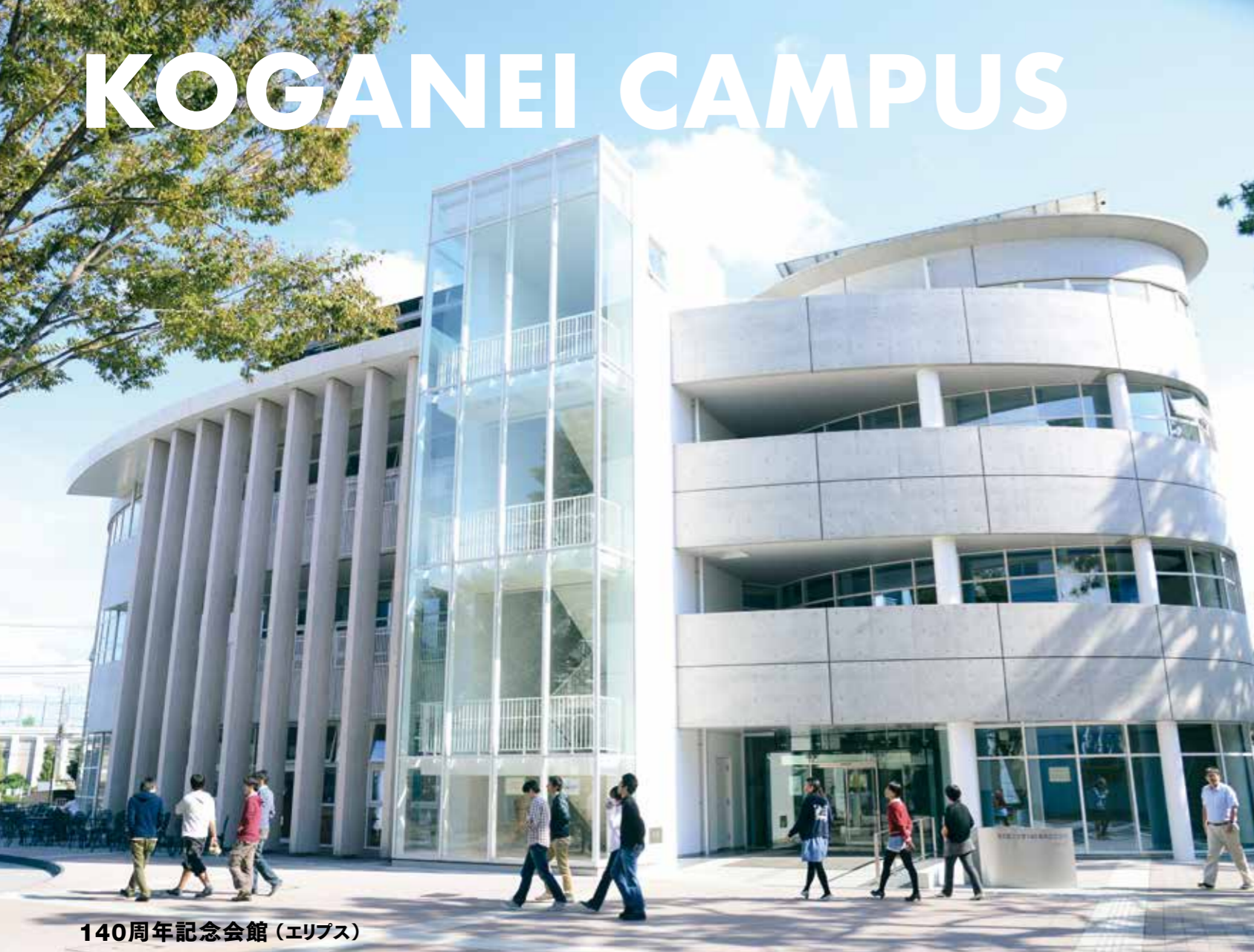
府中図書館



CAMPUS MAP

- | | |
|--------------------|---|
| 1 1号館 | 22 運動場附属施設 |
| 2 2号館 | 23 本部・グローバル教育院 |
| 3 3号館 | 24 本部管理棟 |
| 4 4号館 | 25 保健管理センター |
| 5 新4号館 | 26 50周年記念ホール |
| 6 5号館 | 27 農学部附属広域都市圏
フィールドサイエンス教育
研究センター |
| 7 6号館 | 28 遺伝子実験施設 |
| 8 7号館 | 29 農学部RI実験研究室 |
| 9 8号館 | 30 乳牛舎 |
| 10 農学部本館 (科学博物館分館) | 31 府中国際交流会館 |
| 11 農学部第1講義棟 | 32 檜寮 (女子寮) |
| 12 農学部第2講義棟 | 33 府中第2宿舍 |
| 13 語学演習棟 | 34 府中幸町宿舍 |
| 14 府中図書館 | 35 府中第4住宅 |
| 15 動物医療センター | 36 先進植物工場研究施設 |
| 16 農学部附属硬蛋白質利用研究施設 | 37 農工夢市場 |
| 17 府中体育館 | 38 厩舎 |
| 18 総合屋内運動場施設 | 39 檜寮 |
| 19 福利厚生センター | |
| 20 大学院連合農学研究科管理研究棟 | |
| 21 共同先進健康科学専攻 | |

KOGANEI CAMPUS



140周年記念会館 (エリプス)



中庭



東門



新1号館



小金井図書館



食堂



科学博物館



ものづくり創造工学センター



桜寮



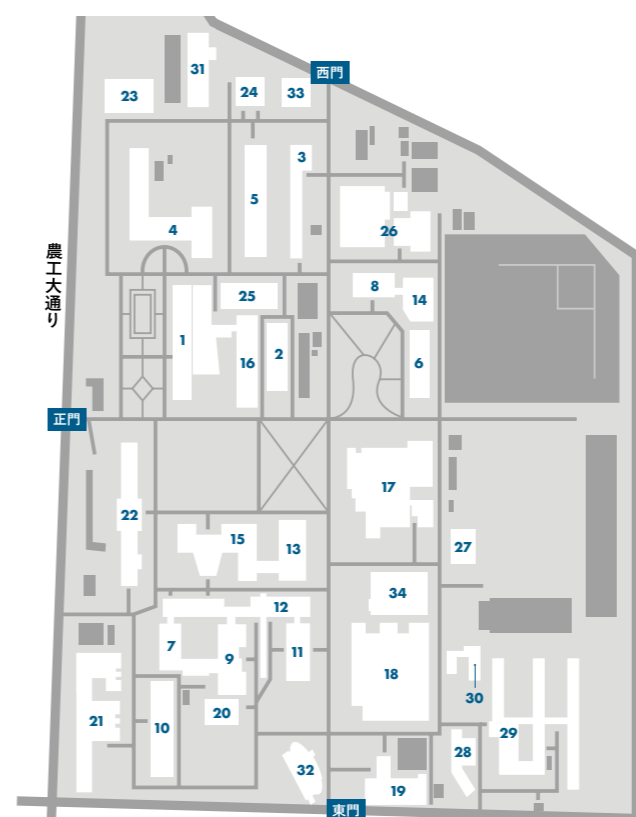
学術研究支援総合センター



産学連携研究推進センター

小金井キャンパス

豊かな自然に恵まれ、榊並木と銀杏並木が印象的な小金井キャンパス。都心から電車で30分圏内と好立地に位置し、工学の基礎から応用までを学ぶ講義棟をはじめ、研究開発に取り組む各種施設が立ち並びます。国内外の最先端を担う研究開発を行うのに適した環境となっています。



CAMPUS MAP

- | | |
|-------------------|-------------------------------|
| 1 1号館 | 18 BASE本館 |
| 2 2号館 | 19 工学部総合会館 |
| 3 3号館 | 20 CAD/CAM実習棟 |
| 4 4号館 | 21 先端産学連携研究推進センター |
| 5 5号館 | 22 科学博物館 |
| 6 6号館 | 23 先端科学実験棟 |
| 7 7号館 | 24 環境管理施設 |
| 8 8号館 | 25 ものづくり創造工学センター |
| 9 9号館 | 26 体育館・武道場 |
| 10 10号館 | 27 工学部RI研究棟 |
| 11 11号館 | 28 小金井国際交流会館 |
| 12 12号館 | 29 榊寮(男子寮) |
| 13 13号館(グローバル教育院) | 30 桜寮(女子寮) |
| 14 14号館 | 31 小金井第2宿舍 |
| 15 工学部講義棟 | 32 140周年記念会館(愛称:エリプス) |
| 16 新1号館 | 33 次世代キャパシタ研究センター |
| 17 小金井図書館 | 34 管理棟(愛称:CUBE)
(小金井地区事務部) |

チームワークでは負けません!



アメリカンフットボール部



馬術部



TUAT Formula



サッカー部



管弦楽団



ミニホースの会

CAMPUS LIFE

1年を通してさまざまなイベントが行われ、自然豊かなキャンパスでは四季の変化を感じることができます。東京農工大学で経験する学生生活は、ここでしか得られない貴重なものです。また、府中・小金井キャンパスの垣根を越えて交流が行われるサークル活動は、文化系から体育系までとさまざま。共通の趣味や目的をもった仲間と充実したキャンパスライフを送ることができます。



ロボット研究会



昆虫研究会

昆虫の世界を覗いてみよう!



のたつと



musset



狩り部



少林寺拳法部

野生の世界がフィールド!

航空研究会

航空機好き、集まれ!

SCHEDULE

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入学式(春季) 入学開始、前期開始	創立記念日			夏季休業	前期修了 修了式(秋季)	後期開始 入学式(秋季)	学園祭	冬季休業			卒業式 学年修了、後期修了
前期						後期					

文化系サークル

- E.S.S.
- IAESTE同好会
- SF研究会
- アカペラサークル ANIT
- 将棋部
- 歌研究会
- 宇宙工学研究会
- 映画研究会
- エレクトーンサークル
- 演劇部
- 管弦楽団
- キター部
- 美術部
- 文芸部
- マイクコンピュータクラブ
- 漫画研究部
- モダンジャズ研究会
- 野生動物研究会
- 落語研究会
- ロボット研究会R.U.R.
- 作曲 DTM サークル
- TUAT Formula
- 向友会
- カードゲームサークル
- グリークラブ
- 航空研究会
- キター部
- 昆虫研究会
- 茶道部
- 児童文化研究会
- 写真部
- ジャグリングサークル
- 植物研究会
- 吹奏楽団
- 旅と鉄道研究部
- 竹桐会
- 天文部
- ピアノ部
- 競技麻雀部
- 昭和歌謡愛好会
- まちけん
- エネラボ
- ボランティアサークル
- 軽音部
- ミニホースの会

体育系サークル

- 合気道部
- アメリカンフットボール部
- オリエンテーリング部
- 空手道部
- 弓道部
- 剣道部
- 硬式庭球部
- 硬式野球部
- テコンドー部
- ハイキング部
- 馬術部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- バレーボール部
- 準硬式野球部
- 少林寺拳法部
- 水泳部
- スキー部
- ソフトボール部
- 卓球部
- 探検部
- ツーリングカヌー部
- ウォンダーフォーゲル部
- ダンスサークル"rough"

自主ゼミ

- ハンググライダー部
- ハンドボール部
- フットサルサークル
- 洋弓部
- ヨット部
- ラグビー部
- 陸上競技部
- ウォンダーフォーゲル部
- ダンスサークル"rough"
- 耕地の会
- ごみダイエットNOKO
- 農工やさい塾
- 森づくりの会
- パラ会
- のたつと
- 狩り部
- 森の派出所
- 変わり種工房

演劇部



ジャグリングサークル

初心者も大歓迎!

学生生活サポート

経済的なことから、勉学環境、日常生活まで、誰もが利用できるバックアップ体制となっています。

保健管理センター

府中キャンパス、小金井キャンパスにそれぞれ設置しています。医師、カウンセラー、看護師、非常勤学校医を有する本センターでは、学生の心身の健康維持・増進を図るため、健康相談、カウンセリング、定期健康診断、病気やけがの応急処置などを行っています。

府中キャンパス 保健管理センター



場所 | 府中キャンパス正門向かい
予約・お問い合わせ | TEL 042-367-5548
受付日時 | 月～金：9時00分～16時30分

小金井キャンパス 保健管理センター



場所 | 小金井キャンパス管理棟1階
予約・お問い合わせ | TEL 042-388-7171
受付日時 | 月～金：9時00分～16時30分

特別修学支援室



身体や感覚機能に障がいのある学生、その他さまざまな修学上の問題を抱える学生を支援しています。
TEL | 042-367-5537 FAX | 042-367-5557
〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8

工学部総合会館・農学部福利厚生センター等

学生の憩いの場、学生同士や学生と教職員の親睦を図るための施設として農学部内に「農学部福利厚生センター」、工学部内に「工学部総合会館」の施設を設置。そのほか、学生の課外活動やレクリエーション等のための合宿研修施設も用意しています。また、東京農工大学消費生活協同組合では食堂をはじめ、大学生活に便利な文房具・オリジナルグッズの販売を行っています。



工学部総合会館

奨学金

東京農工大学では、学生一人ひとりに合わせて奨学金を用意しています。奨学金には、いくつか種類があり東京農工大学独自の奨学金、日本学生支援機構の奨学金、地方公共団体・民間団体等の奨学金などがあります。

日本学生支援機構の奨学金

日本学生支援機構奨学金の貸与を受けるには、経済的に困難というだけでなく、成績等も含めた選考のうえ採用となります。
※学部生対象

日本学生支援機構奨学金	
第一種奨学金（無利子）	
自宅通学者	45,000円、30,000円、20,000円（月額）から選択
自宅外通学者	51,000円、40,000円、30,000円、20,000円（月額）から選択
第二種奨学金（有利子）	
申込者の経済的な必要度に応じて月額2万円～12万円の中から、1万円単位で選択できます。	

問い合わせ先 | 府中地区学生支援室 学生生活係 TEL 042-367-5579
小金井地区学生支援室 学生生活係 TEL 042-388-7011

東京農工大学独自の奨学金

東京農工大学では、独自の給付型奨学金制度を設けています。東京農工大学教育研究振興財団の援助を受けて行っている奨学金は、前年度の学業成績、人物ともに特に優秀な学生に対し奨学金を給付しています。そのほか博士課程内部進学者向けの東京農工大学奨励奨学金、研究を支援する研究奨励金「JIRITSU（自立）」などの制度があります。

問い合わせ先 | 府中地区学生支援室 学生生活係 TEL 042-367-5579
小金井地区学生支援室 学生生活係 TEL 042-388-7011

地方公共団体・民間団体等の奨学金

地方公共団体・民間奨学財団が募集する奨学金は、大学を経由して募集するものと、奨学団体が直接募集するものがあります。大学を経由して募集するものは、各担当窓口にて案内しますので、希望する場合には所定の期限内に申請手続きを行ってください。個人申請の場合には、各募集先の申請方法を確認し手続きをしてください。なお、奨学金は申請資格を満たしていても、必ず採用されるとは限りません。

平成30年度の募集実績はこちら
http://www.tuat.ac.jp/campuslife_career/campuslife/fee/syogakki/syogakkin_koukyou/

学生寮・部屋探し

東京農工大学では、良好な学生生活と勉学の環境を提供するために学生寮を設置しています。入寮条件などの詳細情報は、大学のホームページにて提供しています。近隣の賃貸アパート等（1K、バス・トイレ付）の家賃相場は60,000円～75,000円ほどです。

寮名	府中キャンパス		小金井キャンパス	
	楓寮（女子寮）	檜寮（混住）	桜寮（女子寮）	樺寮（男子寮）
部屋の規格	1人部屋（9m ² ）	1人部屋（16m ² ）	1人部屋（14m ² ）	1人部屋（17m ² ）
収容定員	48名	男子学生75名 女子学生36名	18名	200名
寄宿料（月額）	4,300円	37,800円	30,000円	30,000円
共益費（月額）	なし	2,200円	2,200円	2,200円
諸経費	水光熱費・インターネット使用料など			
設備	共同風呂・共同トイレ・共同キッチン	シャワー・トイレ・ミニキッチン付き	バス・トイレ・ミニキッチン付き	

入学科・授業料

入学科・授業料免除制度について

経済的な理由によって入学科・授業料の納付が著しく困難であり、かつ学業優秀であると認められる者に対し、選考のうえ、入学科・授業料の全額または半額を免除する制度です。

平成30年度			
区分	授業料	入学科	検定料
学部生	年額 535,800円	282,000円	17,000円
学部生（3年次編入生）			30,000円
大学院生（産業技術専攻を除く）			
大学院生（産業技術専攻）	年額 572,400円		

入学科・授業料徴収猶予制度について

経済的な理由によって入学科・授業料の納付が著しく困難であり、かつ学業優秀であると認められる者に対し、選考のうえ、前期猶予者については当該年度8月末日まで、後期猶予者については当該年度2月末日まで入学科・授業料の徴収を猶予する制度です。

単位互換制度

多摩地区にある国立4大学（東京外国語大学、東京学芸大学、電気通信大学、一橋大学）をはじめ、国際基督教大学*、東京海洋大学*などの大学と単位互換制度を結んでいます。キャンパスの枠を超えた多彩な履修機会を無料で提供し、学生の学びへの意欲を積極的にサポートします。

多摩地区の国立大学を中心としたキャンパスで学べる	
学部	東京外国語大学／東京学芸大学／電気通信大学／一橋大学 国際基督教大学*／東京海洋大学* ◆（海洋工学部のみ） 琉球大学*／長岡技術科学大学*
大学院	東京外国語大学／東京学芸大学 電気通信大学／国際基督教大学* 東京海洋大学*／上智大学*

◆東京海洋大学（海洋工学部）との単位互換は工学部・工学府のみとなります。*印は多摩地区国立5大学単位互換制度ではなく、本学が独自に単位互換を実施している大学です。

数字でみる農工大

教員1人に対して学生

約 **9** 人

常勤399名、非常勤69名の教員が在職しており、学部生でみると教員1人あたりの学生数は約9人、研究室でみると平均2～3人。少人数による教育を行っています。

教員あたりの民間企業との共同研究にともなう研究費受入額

出典 | 文部科学省「平成29年度 大学等における産学連携等実施状況について」 **国内第 7 位**

大学満足度

2018年度に実施した学生生活実態調査では、9割に近い学生が大学に満足しているという回答を得ることができました。

85%

男女比 全国の理系国公立大学の中でもトップクラスの女子学生比率。

農学部 **5:5**
工学部 **8:2**

高い大学院進学率

農学部 **60%**

工学部 **77%**

東京農工大学の大学院進学率は、大学全体では71%と多くの学生が進学をしています。

教員あたりの学術論文数 **4** **国内第 4 位**
出典 | QS World University Rankings 2019

入試情報

2020年度募集人員

備考 ①前期日程の募集人員には、帰国子女、社会人および私費外国人留学生入試の若干名を含みます。
②ゼミナール入試、SAIL入試および推薦入試の合格者が、募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は前期日程の募集人員に加えます。

学部	学科	入学定員	一般入試			特別入試											
			前期	後期	ゼミナール(AO入試)	SAIL(AO入試)入試	推薦入試(工学部)	推薦入試(農学部)	帰国子女	社会人	私費外国人留学生						
	出願期間(2020年度入試)		1/27~2/5		10/9~10/15	9/1~9/9	11/1~11/7	1/17~1/23	1/17~1/23	1/17~1/23	1/27~2/5						
	選抜期日(2020年度入試)		2/25	3/12	11/30	9/27・9/29	11/30		2/25・2/26	2/25・2/26	2/26						
学部	学科	入学定員	募集人員(人)														
農学部	生物生産学科	57	38	13	募集しない	募集しない	募集しない	募集しない	募集しない	募集しない	募集しない	募集しない	募集しない				
	応用生物科学科	71	47	16										6	若干名	若干名	若干名
	環境資源科学科	61	40	12										3	8	〃	〃
	地域生態システム学科	76	53	15										6	〃	〃	〃
	共同獣医学科	35	25	6										8	〃	〃	〃
	学部計	300	203	62										3	4	募集しない	募集しない
工学部	生命工学科	81	46	25	募集しない	募集しない	募集しない	募集しない	募集しない	募集しない	募集しない	募集しない	募集しない				
	生体医用システム工学科	56	30	20										6	募集しない	〃	〃
	応用化学科	81	44	29										8	〃	〃	〃
	化学物理工学科	81	44	29										4	4	〃	〃
	機械システム工学科	102	55	37										募集しない	10	〃	〃
	知能情報システム工学科	120	65	43										7	5	〃	〃
	学部計	521	284	183										17	37	〃	〃
	合計	821	487	245										3	17	37	32

入試関係資料について(予定)

	大学案内	入試情報	入学者選抜要項	AO入試学生募集要項	特別入試学生募集要項
	5月中旬	6月中旬	7月中旬	7月中旬	8月下旬
東京農工大学生協(宅配)	○	○	○	○	○
テレメール	○	○	○	○	○
モバっちょ	○	○	○	○	○

※2020年度一般入試学生募集要項は、Web出願に移行するため、印刷物の発行はありません。詳細は、本学ホームページにて公表予定です。
https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi_gakubu/

東京農工大学生協(宅配) インターネット、携帯電話・スマートフォンおよびFAXにてお申し込みください。

申し込み先 フォームに必要事項を入力し、内容を確認の上、送信してください。
インターネット・スマートフォン | https://www.univcoop.jp/tuat FAX | 042-352-7222

宅配に関する問い合わせ先 東京農工大学生協
電話 | 042-366-0762 (夏季休業日・年末年始・土日・祝日を除く10時~14時)

テレメール 自動音声応答電話またはインターネットにより請求することができます。

1 自動音声応答電話による場合

① 次の電話番号へダイヤルしてください。
IP電話 | 050-8601-0101 ※IP電話：一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。

② 資料請求番号(6桁)をダイヤルしてください。

大学案内	562320	入学者選抜要項	582320	入学者選抜要項+大学案内	562300	入試情報	547140
AO入試学生募集要項	581780	AO入試学生募集要項+大学案内	582440	特別入試学生募集要項	582340		

③ 後はガイダンスに従って操作してください。
料金はお届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、お支払いください。

テレメールでの資料請求における資料のお届け・個人情報に関するお問い合わせ・お申し出先 テレメールカスタマーセンター(IP電話) | 050-8601-0102 (受付時間9:30~18:00)

モバっちょ 携帯電話・スマートフォンまたはパソコンにより請求することができます。お急ぎの方は宅配便のご利用もできます。

インターネット | http://djc-mb.jp/tuat/2/

インターネットのみの利用となります。パソコン、携帯電話各社・スマートフォンともアドレスは共通。携帯電話・スマートフォンから請求すると、月々の通話料金と一緒に支払っていただけます。クレジットカード払い、コンビニ後払いも選択できます。資料請求代金に加えて、携帯払い、クレジットカード払いは50円、コンビニ後払いは126円の支払い手数料が別途必要です。携帯電話・スマートフォンの機種、携帯電話会社との契約内容によっては携帯払いがご利用いただけない場合があります。



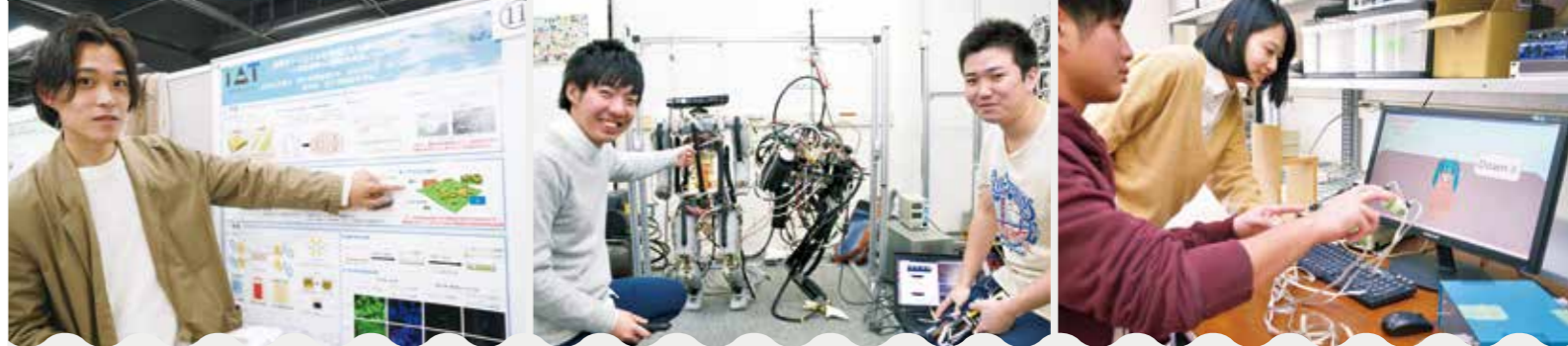
2 インターネットによる場合

(アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要)
https://telemail.jp



パソコン、携帯電話各社ともアドレスは共通。スマートフォン・携帯電話で左記QRコードを読み取ることができます。

入試に関する問い合わせ先 東京農工大学 入学企画課入学試験室 〒183-8538東京都府中市晴見町3-8-1 電話 | 042-367-5837、5544



OPEN CAMPUS 2019

東京農工大学への進学を希望する受験生のみなさんを対象に、今年も東京農工大学のオープンキャンパスを開催します。保護者の方々、高校の先生、塾・予備校関係者の参加も大歓迎。お問い合わせのうえ、ふるってご参加ください。

農学部

日程	対象	名称(内容)
5月25日(土)	地域生態システム学科	●学生による学科紹介 10:00~11:30 (学生による学科の紹介、キャンパスツアーや研究室紹介など)
6月1日(土)	共同獣医学科	●教員による模擬授業 13:30~15:00
7月7日(日)	生物生産学科	
7月20日(土)	環境資源科学科	
7月26日(金)	応用生物科学科	
7月6日(土)	共同獣医学科	●学科説明会 10:00~12:30/ 14:00~16:30
8月2日(金)	環境資源科学科	学科の講義や研究の内容・学生生活の紹介、入試概要の説明、ミニ講義、キャンパスツアー、個別相談会など(午前と午後は同一内容)
8月6日(火)	生物生産学科	
8月7日(水)	応用生物科学科	
8月8日(木)	地域生態システム学科	
8月3日(土)	環境資源科学科	●夏休み一日体験教室 10:00~15:00

工学部

日程	対象	名称(内容)
6月15日(土)	全学科	●キャンパスツアー・ キャンパス体験 10:00~16:30 普段のキャンパスライフをご覧いただけます。 ご希望の方はガイド付きツアー(事前申込制)をご用意しています。
8月3日(土)	生命工学科・応用化学科	●夏のオープンキャンパス ~学部説明会~ 10:00~13:00/ 14:00~17:00 (生命工学科は14:00~17:00のみ開催)
8月4日(日)	生体医用システム工学科・ 知能情報システム工学科	工学部や各学科の教育・研究、入試概要の説明、研究室見学など
8月5日(月)	化学物理工学科・ 機械システム工学科	
11月10日(日)	全学科	●秋のオープンキャンパス ~研究室大公開~ 11:00~17:00

上記の日時で開催予定ですが、変更する場合もございます。参加される前に必ず本学WEBサイトにてご確認ください。

参加申し込み 事前のお申し込みが必要です。WEBサイトからお申し込みください。
※開催日により説明する学科が異なります。定員になり次第、締め切る場合があります。

http://www.tuat.ac.jp



問い合わせ 農学部広報担当 ▶ E-mail : a-koho@cc.tuat.ac.jp 小金井地区戦略企画室 ▶ E-mail : k-koho@cc.tuat.ac.jp

学園祭(府中キャンパス)

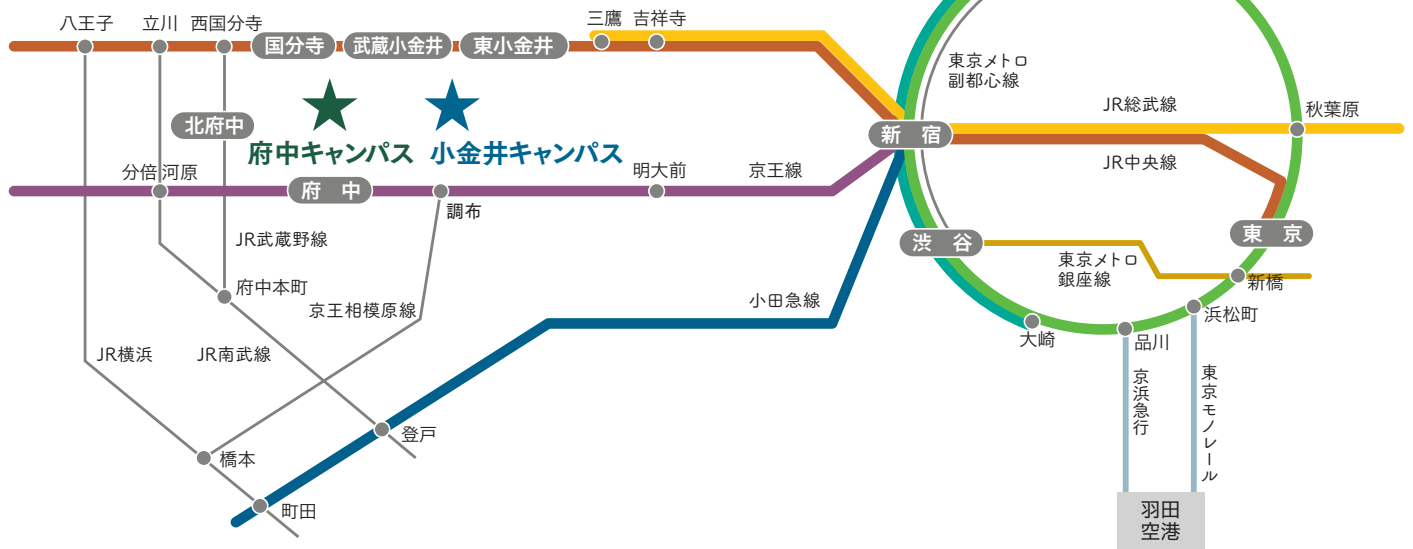
学生委員が主体となって、模擬店、野菜市、ライブステージ、受験生相談や研究室公開など、さまざまな企画が催されます。なお、農学部主催の「農学サイエンスフェスタ(ポスターによる研究紹介)」などが同期間に開催されます。

2019.11/8^{FRI}, 9^{SAT}, 10^{SUN}



ACCESS MAP

都心からアクセス良好な2つのキャンパス



府中キャンパス

〒183-8509
東京都府中市幸町3-5-8

交通案内

- JR中央線「国分寺駅」下車→南口2番乗場から「府中駅行バス(明星学苑経由)」約10分「晴見町(東京農工大学前)」バス停下車
- 京王線「府中駅」下車→北口バスターミナル3番乗場から「国分寺駅南口行バス(明星学苑経由)」約7分「晴見町(東京農工大学前)」バス停下車
- JR武蔵野線「北府中駅」下車、徒歩約12分

小金井キャンパス

〒184-8588
東京都小金井市中町2-24-16

交通案内

- JR中央線「東小金井駅」下車、nonowa口徒歩約6分
- JR中央線「武蔵小金井駅」下車、徒歩約20分

東京農工大学ウェブサイト

<http://www.tuat.ac.jp/>



東京農工大学の学部、大学院、入試情報のほか、オープンキャンパスや相談会、説明会のイベント情報など、さまざまな情報を発信。ドローンを使用して空撮した両キャンパスの映像は必見です。

受験生向け特別サイト

<http://web.tuat.ac.jp/~admiss/>



受験生の気になるキャンパスライフ情報を公開しています。研究室やサークル、農工大生の1日の様子、活躍する卒業生、学生生活の情報など、受験生の皆様へ向けた情報をお届けします。

Facebook

<https://www.facebook.com/tuat.nokodai/>



学生の研究成果が評価され、学会などで表彰を受けた報告や、教員の研究がマスコミで取り上げられた情報など、見どころ満載でアップしていきます。ぜひご覧ください。

Twitter

@TUAT_all



東京農工大学の“今”をつぶやきます！プレスリリースやイベント情報、サークルの活動、卒業生の近況など、バラエティに富んだ内容でつぶやいています。